

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第13週 > 伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-11

< インフルエンザ > 第13週の定点当たり報告数は21.5となり、前週の定点当たり報告数(32.5)から大幅に減少した
< 麻疹 > 第13週の報告数は26であり、2006年第36週以降の最高値となった



病原体情報
P.12-15

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン



速報
P.16-17

2006年の麻疹流行状況 - 沖縄県



海外感染症情報

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.18

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(13週)
P.19-25



13週のデータ
P.26-37



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第13週コメント > 4月5日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

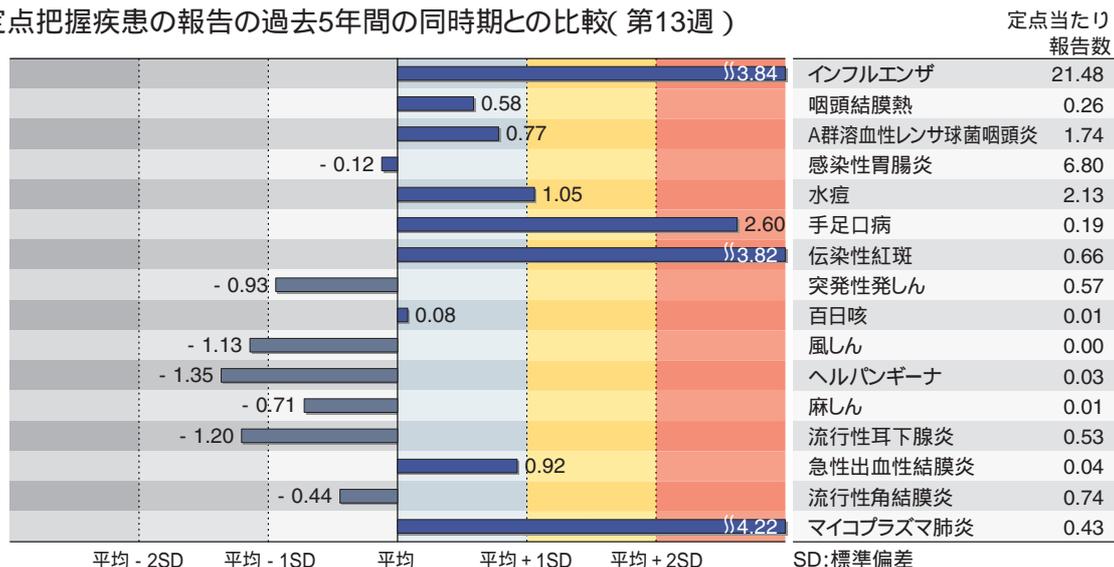
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 13例
(感染地域: インドネシア8例、ベトナム2例、インド1例、エジプト1例、シンガポール1例)
腸チフス 1例(感染地域: インド)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 10例(うち有症者7例、HUSなし)
感染地域: 福岡県2例、北海道1例、山形県1例、福島県1例、富山県1例、大阪府1例、鹿児島県1例、国内(都道府県不明)1例、アルゼンチン1例
年齢群: 10歳未満(3例)、10代(3例)、20代(3例)、50代(1例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 3例、O157 VT2 3例、O26 VT1 1例、O19 VT1(1例)、O157 VT1(1例)、その他/不明(1例)
- 4類感染症: A型肝炎 1例(感染地域: 宮城県)
つつが虫病 2例(感染地域: とくに福島県)
デング熱 1例(感染地域: クアラルンプール)
レジオネラ症 5例(すべて肺炎型)
年齢群: 50代1例、60代1例、70代1例、80代2例
感染地域: 北海道2例、富山県1例(温泉)、岐阜県1例、三重県1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 5例(すべて腸管アメーバ症)
感染地域: 国内3例、インドネシア/スリランカ1例、国外(国不明)1例
感染経路: 経口4例、性的接触(異性間・同性間不明)1例
ウイルス性肝炎 1例(B型_感染経路: 不明)
急性脳炎 2例
(ロタウイルス1例(1歳)、B型インフルエンザウイルス1例(5歳))
クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
(孤発性プリオン病古典型1例、
遺伝性プリオン病ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病1例)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(30代、血清群: A群、死亡)
後天性免疫不全症候群 6例(無症候5例、AIDS 1例)
感染地域: 国内3例、タイ1例、ミャンマー1例、米国1例
感染経路: 性的接触6例(異性間4例、同性間2例)
梅毒 3例(早期顕症1例、晩期顕症1例、無症候1例)

(補)他に報告遅れとして、E型肝炎1例(感染地域: 三重県、感染源: 不明)、急性脳炎4例(ムンプスウイルス1例(0歳)、A型インフルエンザウイルス1例(7歳)、B型インフルエンザウイルス1例(3歳)、インフルエンザウイルス型不明1例(30代))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(30代1例、40代1例、血清群: とくにA群)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第13週)



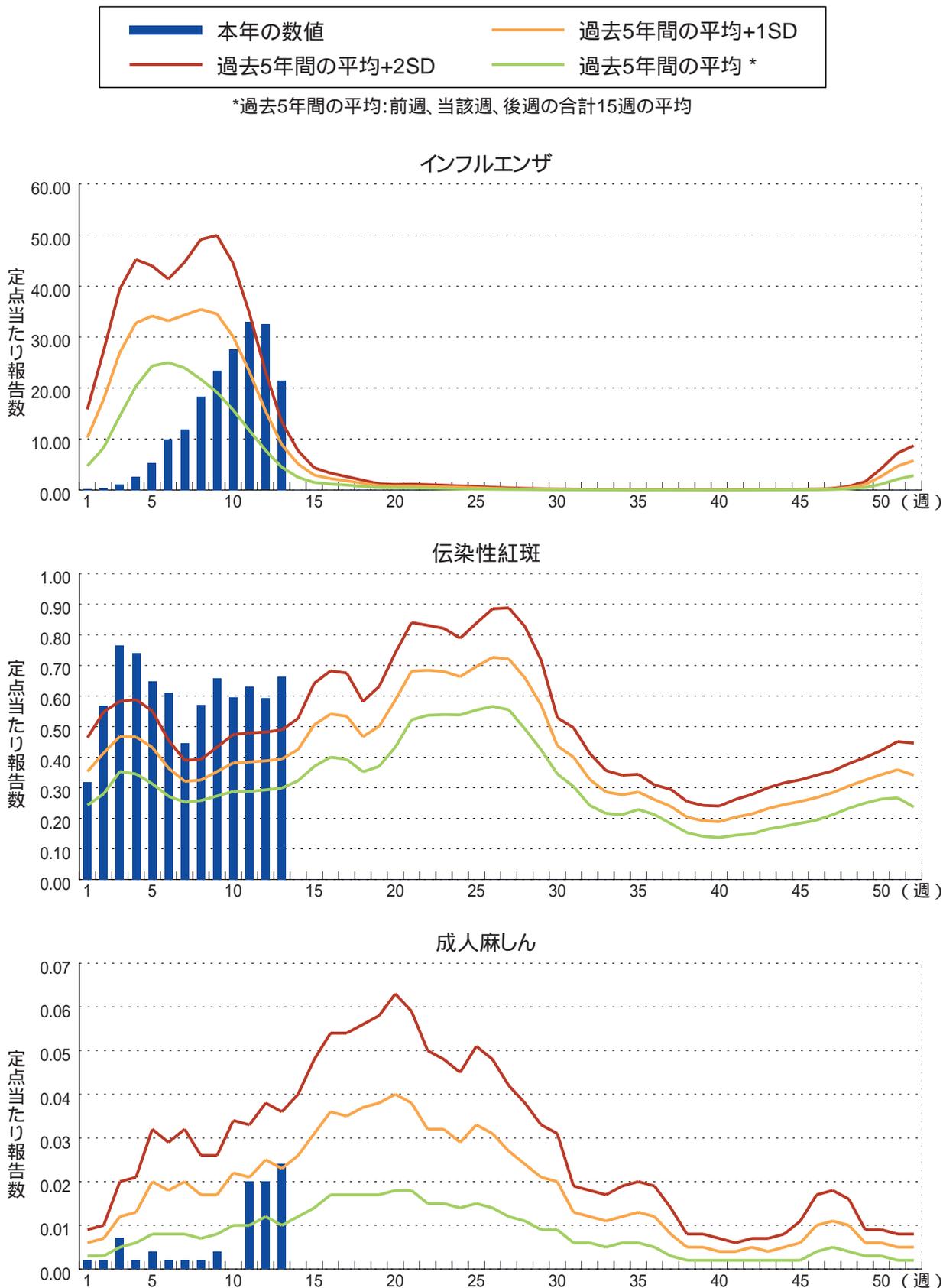
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では青森県(40.5)、大分県(38.4)、長崎県(38.1)、山口県(37.1)、宮崎県(37.1)、新潟県(35.6)が多い。

小児科定点報告疾患: RSウイルス感染症は377例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では富山県(0.86)、大分県(0.78)、山形県(0.60)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では富山県(6.5)、北海道(4.0)、鳥取県(3.5)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では宮崎県(16.1)、福井県(15.4)、福岡県(11.5)、大分県(11.3)が多い。水痘の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県(5.8)、鹿児島県(4.5)、沖縄県(4.4)、佐賀県(3.7)が多い。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では宮崎県(1.9)、長崎県(1.1)、熊本県(1.0)、鹿児島県(1.0)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(3.1)、石川県(1.7)、北海道(1.5)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では千葉県(0.05)、岐阜県(0.04)が多い。風しんの報告数は減少した。都道府県別では北海道、栃木県、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、鹿児島県から各1例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では島根県(0.22)、山口県(0.22)、岡山県(0.17)が多い。麻しんの報告数は増加した。都道府県別では埼玉県11例、東京都9例、青森県、千葉県、神奈川県、滋賀県、広島県、佐賀県から各1例の報告があった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(2.3)、青森県(1.6)、秋田県(1.2)、高知県(1.2)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.9)、福島県(1.7)、群馬県(1.5)が多い。成人麻しんは11例と報告数は増加し、東京都から8例、宮城県、茨城県、神奈川県から各1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～13週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症である。感染を受けてから1～3日間の潜伏期間を経て、発熱(38 以上)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然出現し、咳・鼻水などの上気道炎症状がこれに続く。1週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強い。高齢者では超過死亡の原因として知られている二次性の細菌性肺炎、小児では発症率は低いものの生命に関わる可能性のあるインフルエンザ脳症等の合併症が知られている。

感染症発生動向調査によると、2007年第13週現在の全国約5,000カ所のインフルエンザ定点医療機関からの定点当たり報告数は21.5(報告数102,402)となり、前週の定点当たり報告数(32.5)から大幅に減少した(図1)。都道府県別では、青森県(40.5)、大分県(38.4)、長崎県(38.1)、山口県(37.1)、宮崎県(37.1)、新潟県(35.6)の順であるが、高知県を除く全ての都道府県で定点当たり報告数の減少がみられている(図2)。2006年第36週以降これまでの定点医療機関からの定点当たり累積報告数は192.1(累積報告数902,928)であり、年齢別では5～9歳が32.7%と最多であり、次いで10～14歳(21.8%)、0～4歳(20.2%)の順である(図3)。

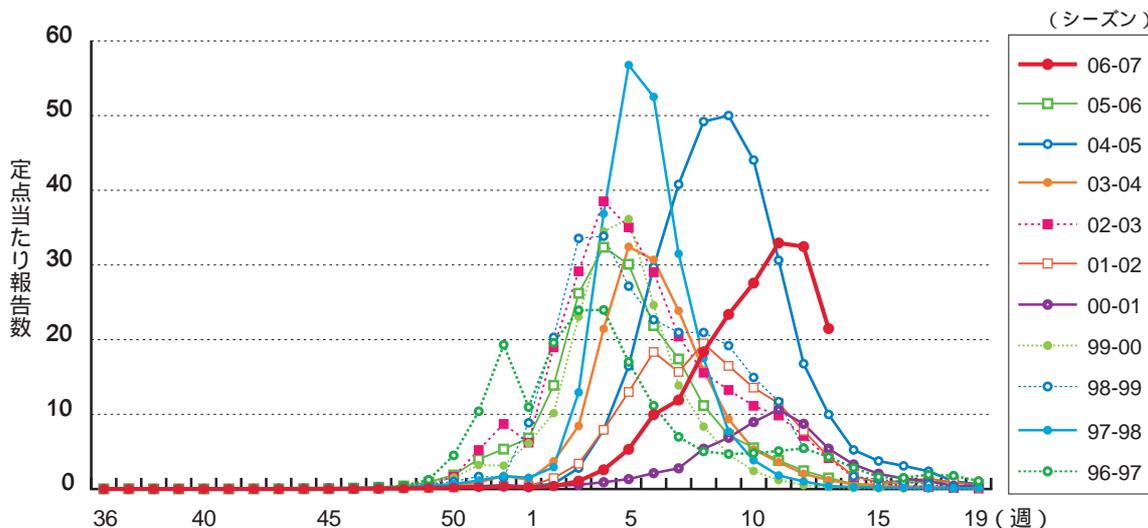


図1. インフルエンザのシーズン別・週別発生状況(1996年第36週～2007年第13週)

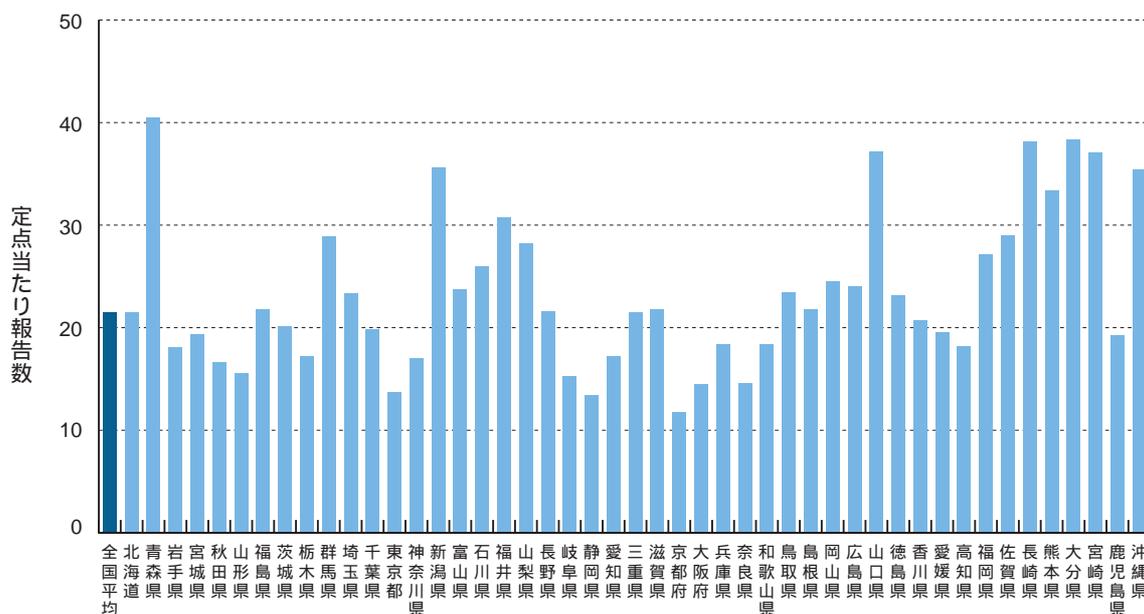


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2007年第13週)

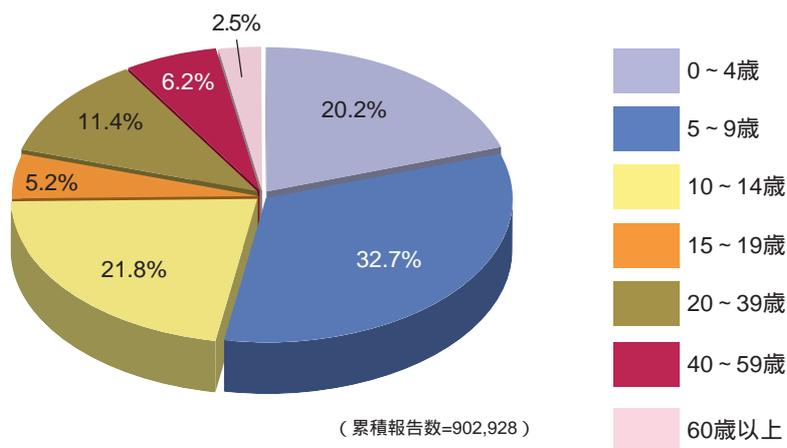


図3. インフルエンザの報告症例の年齢別割合(2006年第36週～2007年第13週)

第36週以降これまでに全国の衛生研究所から報告されたインフルエンザウイルス分離/検出報告(総報告数2,738)では、AH1亜型(Aソ連型)7.9%(報告数216例)、AH3亜型(A香港型)52.3%(1,432例)、B型39.8%(1,090例)であり、AH3亜型の分離/検出報告が最多であるが、B型の報告割合も少なくない(図4、図5)。

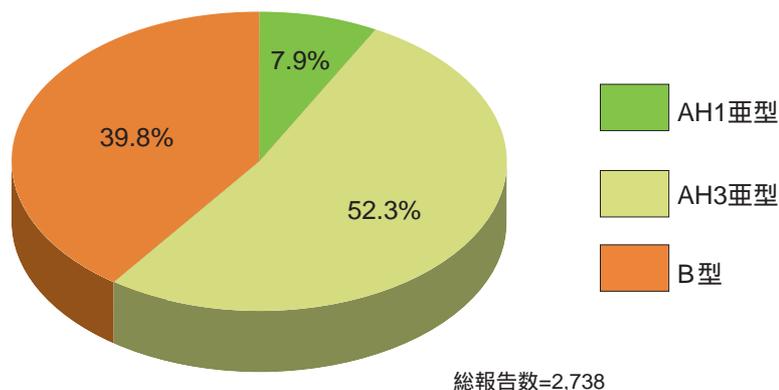


図4. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離/検出状況 (2006年第36週～2007年第13週)

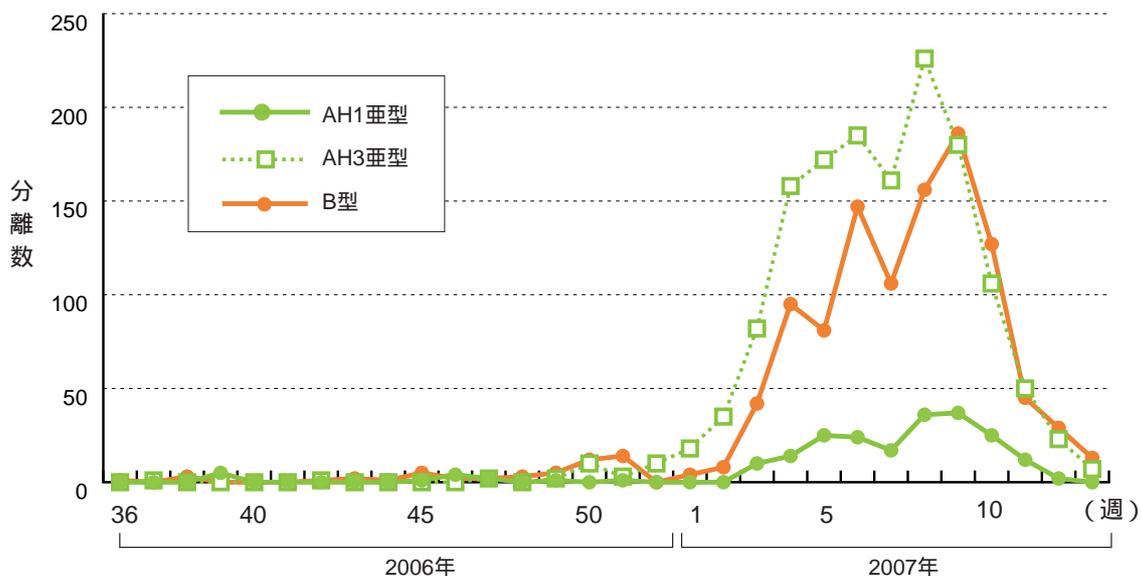


図5. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルス分離/検出の週別推移 (2006年第36週～2007年第13週)

今シーズンのインフルエンザの流行は1月中旬(2007年第3週)より開始した後継続的に増加し、定点当たり報告数は第11週32.9、第12週32.5と高い値が続いたが、第13週に21.5と低下し、流行のピークを越えたものと思われる。しかしながら、例年の同時期と比較すると患者発生報告数は多く、まだインフルエンザの流行は継続している。インフルエンザの発生動向には今後とも注意が必要である。

麻疹

麻疹は空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示す疾患であり、その感染力は極めて強い。麻疹に対して免疫を持たない者が感染した場合は、10日間前後の潜伏期を経て発症し、カタル期(2～4日間)、発疹期(3～5日間)、回復期へと続いていく。先進国においては罹患者における致死率は低下(0.1～0.2%)しているものの、わが国においても合併症発症率、入院率は高く、未だ重篤な疾患であることには変わりはない。また、最近では比較的年長のワクチン既接種者において、修飾麻疹として発症する例がしばしばみられており、この場合は潜伏期間の延長や、非典型的な症状を呈する場合も少なくない。

感染症発生動向調査によると、2007年第13週の小児科定点からの麻疹の報告数は26(定点当たり報告数0.01)であり、2006年第36週以降の最高値となった(図1)。特に埼玉県11例、東京都9例、千葉県、神奈川県各1例であり、南関東地域のこれら4都県で計22例の報告となり、同地域における麻疹の流行は更に進行している可能性が高いと思われる(図2)。2006年第36週以降の累積患者報告数は253例であり、年齢別では10～14歳の割合が21.3%と最も多く、1歳児(18.2%)、0歳児(16.6%)を上回っており、2005年までと比較して年長者の報告割合が増加している(図3、図4)。基幹定点からの成人麻疹の報告数は、第13週は11例と第12週(9例)より更に増加しているが、そのうち8例は東京都からの報告である(図5)。成人麻疹は2006年第36週から現在までに54例の報告があるが、そのうち29例が2007年第11週からの3週間の報告であり、その多くが東京都を中心とした南関東地域の4都県からである(図6)。

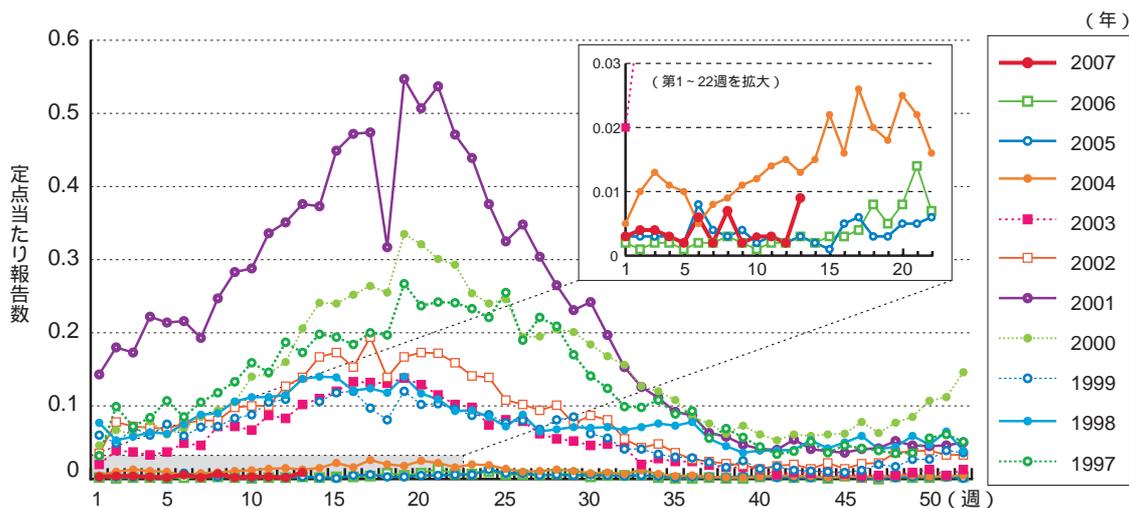


図1. 麻疹の年別・週別発生状況(1997年～2007年第13週)

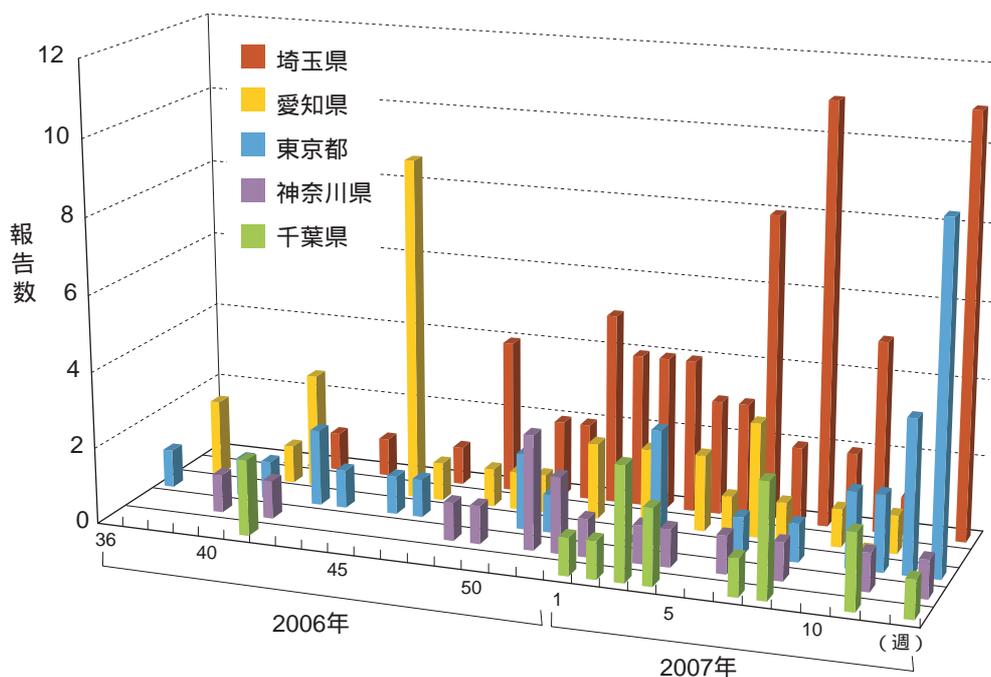


図2. 主要都道府県における麻しんの報告の週別推移(2006年第36週～2007年第13週)

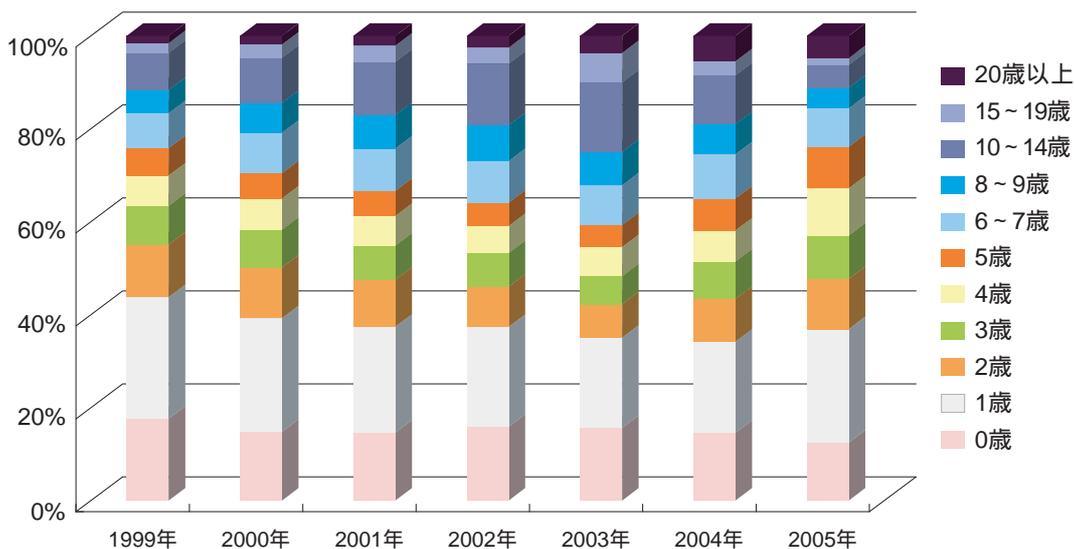


図3. 麻しんの報告症例の年別・年齢群別割合(1999～2005年)

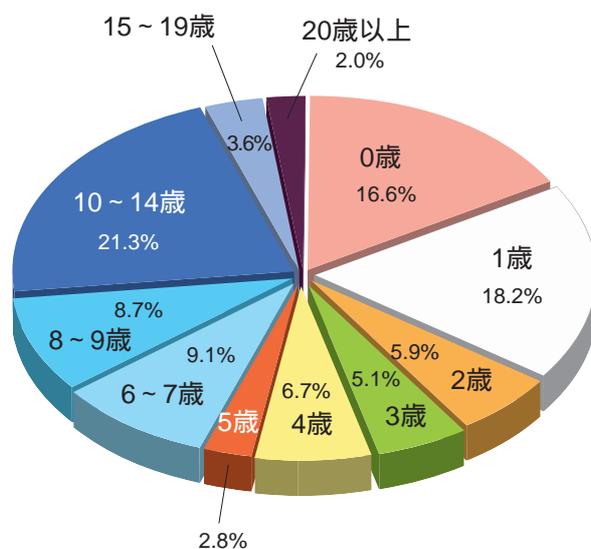


図4. 麻しんの報告症例の年齢群別割合(2006年第36週 ~ 2007年第13週)

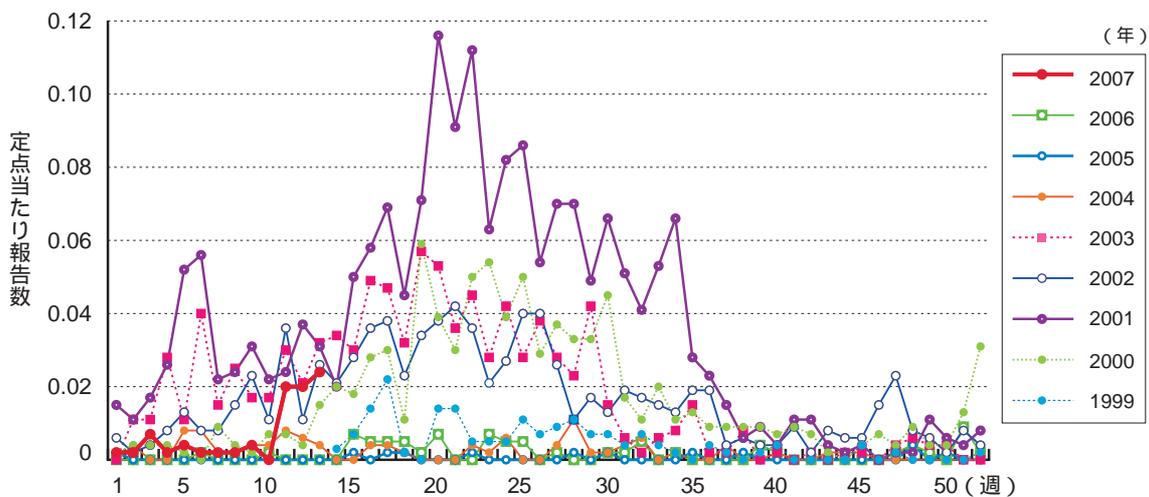


図5. 成人麻しんの年別・週別発生状況(1999年第14週 ~ 2007年第13週)

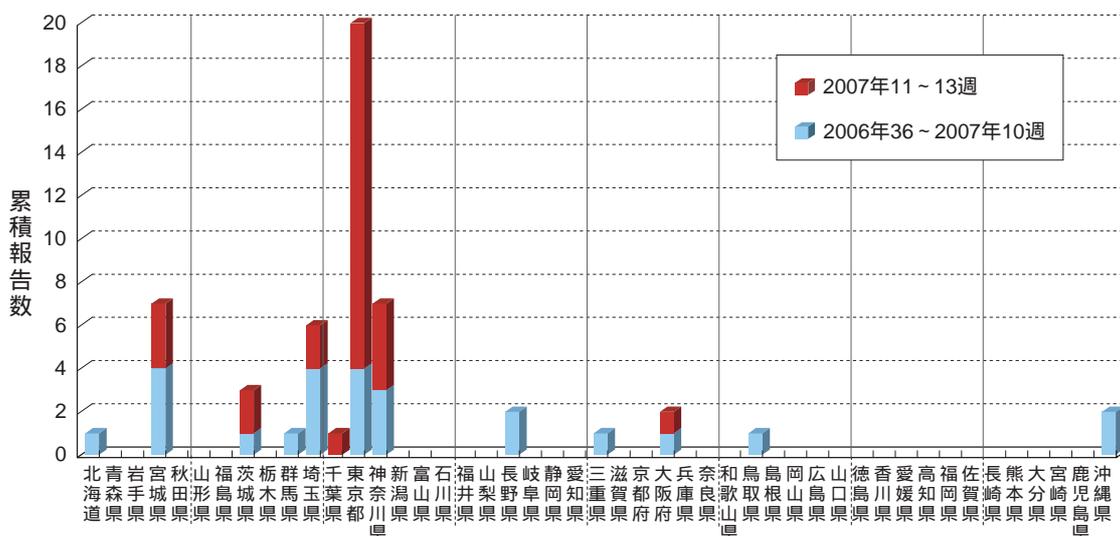


図6. 成人麻しんの都道府県別累積報告状況(2006年第36週～2007年第13週)

現在東京都や埼玉県を中心とした南関東地域では麻しんが流行しており、感染症情報センターホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas0605.html>)においても流行情報を掲載しているが、入学式、始業式等の学校、幼稚園、保育園行事の実施に伴って、今後流行は更に拡大する可能性が高い。

麻しんは国内からの排除(elimination)を目標とすべき疾患であり、そのためには地域的な流行は積極的に阻止されなければならない。麻しんの流行を阻止するためには、1歳になっただとすぐと学童期前の2回目接種を含めた麻しん関連ワクチンのより積極的な勧奨が必要であると共に、1例でも発生すればすぐに対応を講じる等の対策が重要である(「保育園・幼稚園・学校等での麻しん患者発生時の対応マニュアル」<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)。

また今後、麻しん発症者の医療機関受診の増加に伴い、院内感染事例の増加も危惧されることとあり、医療機関における適切な準備と迅速な対応が望まれる(「医療機関での麻疹対応について」<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)。今後とも麻しん発生動向に対するより注意深い観察と、麻しん発生時における迅速な対応が必要である。

なお、感染症発生動向調査における麻しん報告は小児科定点(成人麻しんは基幹定点)からのものであり、そのデータのみで現在のような地域的な流行の実態を迅速に把握し、対応することは困難であるとの指摘が以前よりある。そのため、国立感染症研究所感染症情報センターでは、全国の医療関係者が麻しんの発生情報を入力し、情報発信・情報共有が可能となるように、2006年5月より麻疹DBデータベースをホームページ上に立ち上げている(<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas-db.html>)。麻疹・風疹混合生ワクチン(MRワクチン)接種啓発用ポスターのダウンロード(<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html>)と合わせて、積極的に活用していただきたい。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2007年4月5日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

例年より遅く2007年に入ってからAH3亜型が増加し始め、第3週以降はB型も増加し、第9週以降はB型がAH3亜型の報告数を上回っている。

2006年第36週からの累計ではAH1亜型が30都道府県から216件、AH3亜型が42都道府県から1,432件、B型が43都道府県から1,090件が報告されている(PCR/抗原検出によるAH1亜型2件、AH3亜型10件、B型10件を含む)。

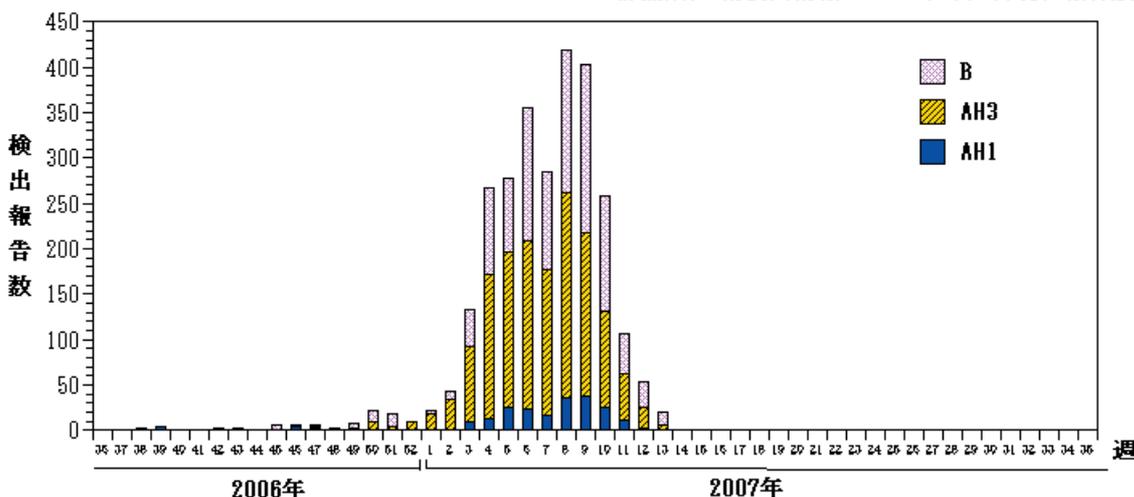
AH1亜型: 2007年第3～9週に10、14、25、24、17、36、37件と増加し、第10～13週には25、12、2、0件が報告されている。直近の4週間(第10～13週)では福岡県6件、広島県5件、山形県、神奈川県、佐賀県各4件、宮城県3件など15都道府県から報告されている。

AH3亜型: 第49～52週に2、10、3、10件、2007年第1～8週に18、35、82、158、172、185、161、226件と増加し、第9～13週には180、106、50、23、7件が報告されている。直近の4週間(第10～13週)では北海道29件、高知県25件、神奈川県20件、千葉県15件、福岡県13件、石川県11件、兵庫県10件、宮城県7件、群馬県6件など28道府県から報告されている。

B型: 第42～49週まで毎週1～5件、第50週12件、第51週14件が連続して報告された後、2007年第1～9週に4、8、42、95、81、147、106、156、186件と増加し、第10～13週には127、45、29、13件が報告されている。直近の4週間(第10～13週)では北海道、広島県各42件、神奈川県32件、茨城県、千葉県各8件、秋田県、兵庫県、岡山県各7件、熊本県6件など28道府県から報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

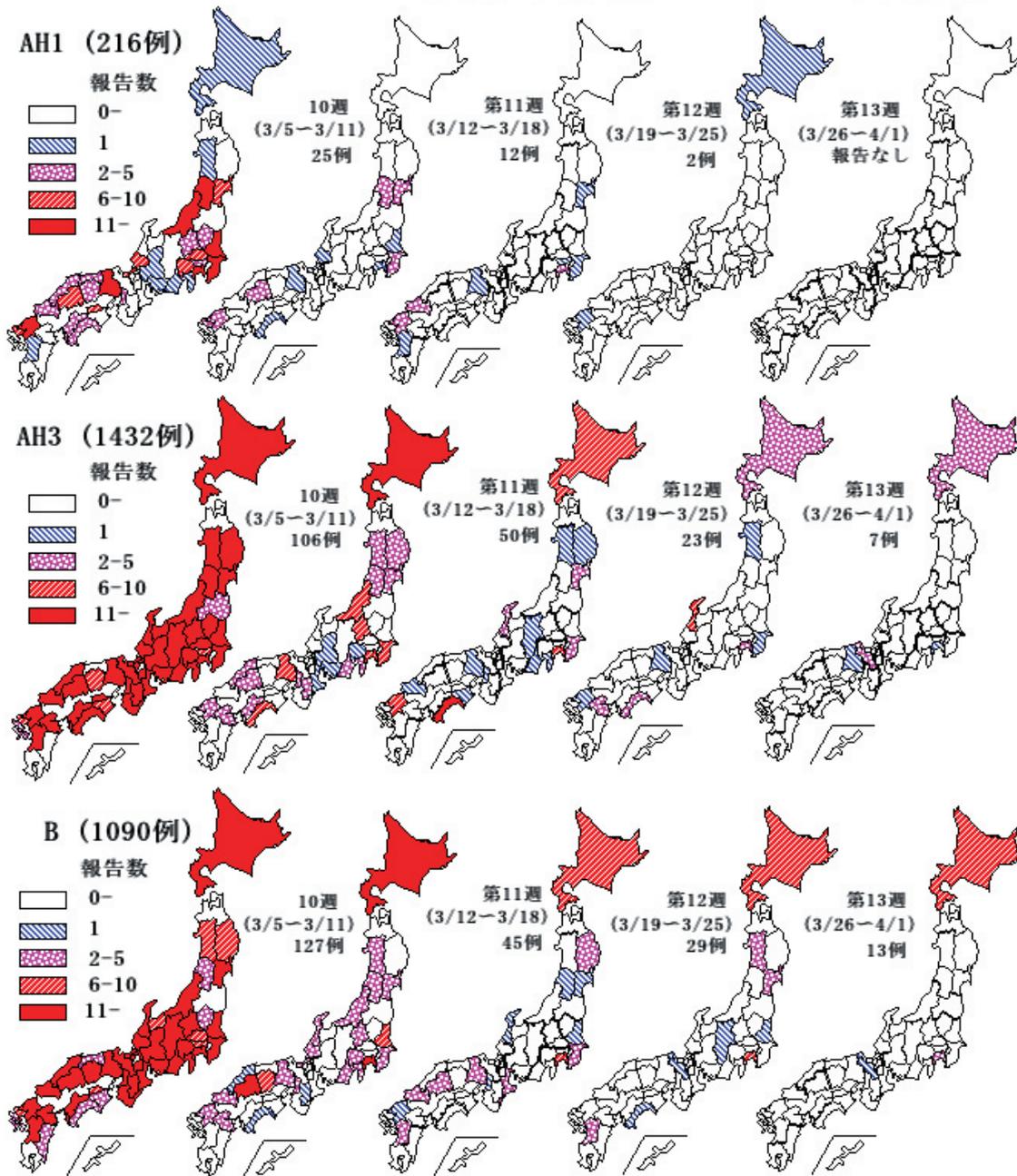
(病原微生物検出情報: 2007年4月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年4月5日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン

例年より早く2006年第40週よりノロウイルスgenogroup IIの報告が増加し、第36週からの累計ではノロウイルスgenogroup IIが3,131件、genogroup Iが47件、サポウイルスが61件、A群ロタウイルスが184件報告されている。

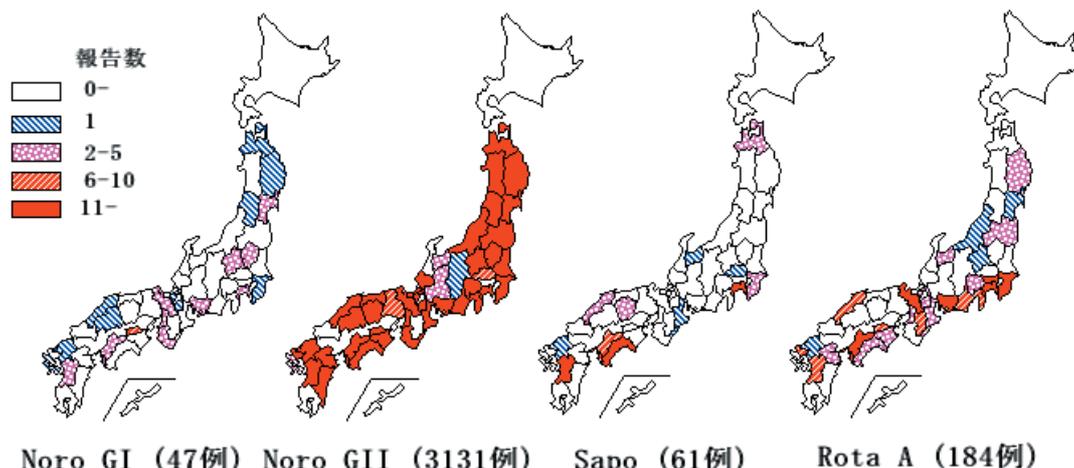
ノロウイルスgenogroup IIは大阪府413件、神奈川県286件、滋賀県268件、岩手県259件、京都府247件、愛媛県189件、広島県174件、高知県118件、岡山県102件など40府県から報告されている。genogroup Iは香川県10件、大阪府5件など20府県から、サポウイルスは高知県16件、熊本県13件、神奈川県11件、愛媛県7件など12県から報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告も増加しており、これまでに2006年9月に6事例、10月に65事例、11月に311事例、12月に225事例、2007年1月に94事例、2月に53事例、3月に21事例、計775事例が報告されている(このうち10月の1事例、11月の2事例、12月の4事例、3月の1事例ではgenogroup IとIIを検出)。

検出されたgenogroup IIのノロウイルスについて、さらに遺伝子型別まで実施された214事例中204事例はGII/4と報告されている(他には10月にGII/9が1事例、11月にGII/2が3事例とGII/6が1事例、1月にGII/2が2事例、2月にGII/2とGII/13が各1事例、3月にGII/2が1事例)。また、10月、11月の各1事例、12月の3事例、1月の2事例、2月の3事例、3月の1事例ではgenogroup Iが検出され、11月、12月の各5事例、1月の4事例、2月の1事例のgenogroupは不明である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

一方、A群ロタウイルスは例年同様冬季から春季に報告が増加しつつあり、東京都22件、千葉県19件、愛媛県17件、京都府15件、愛知県13件、神奈川県12件、奈良県10件、熊本県9件、静岡県、島根県、香川県、佐賀県各8件など26都府県から報告されている。

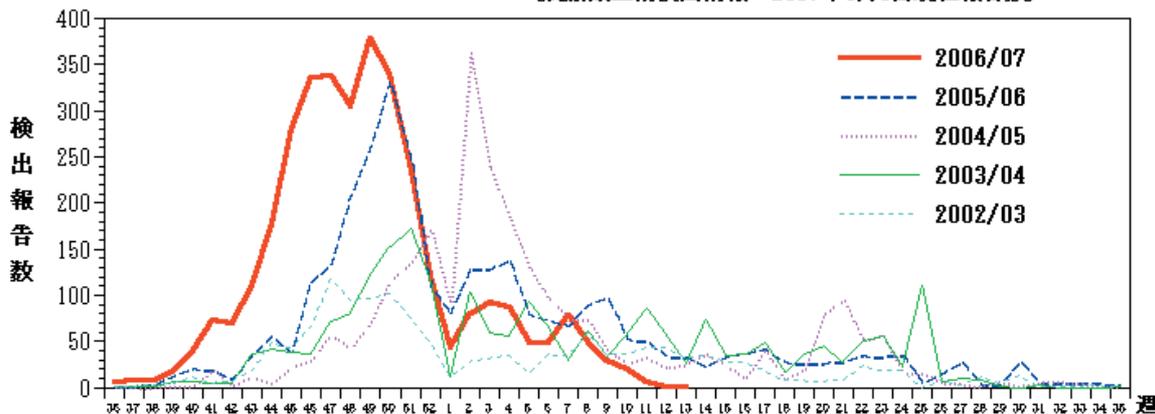
都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年4月5日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年4月5日現在報告数)

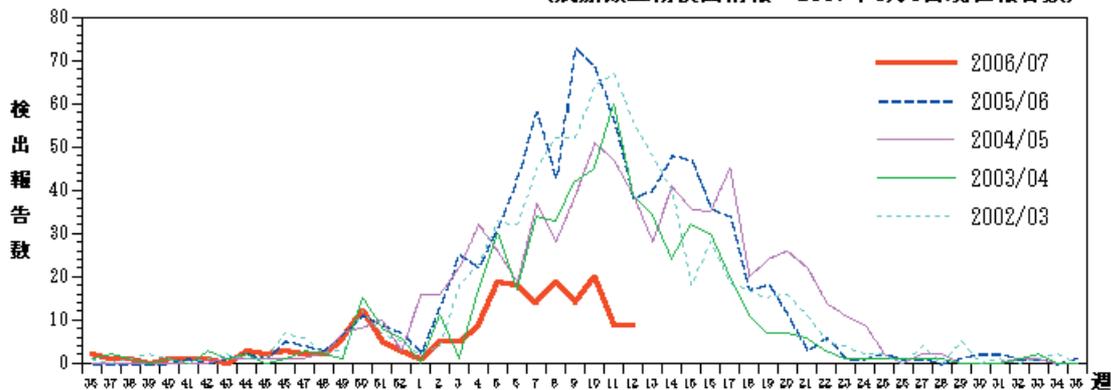


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別ロタウイルスの検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年4月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



2006年の麻疹流行状況 - 沖縄県

本県では、感染症発生動向調査を強化し、麻疹に関する情報を迅速に収集・分析・提供・公開することにより麻疹発生の予防および蔓延を防止することを目的に、「沖縄県麻疹発生全数把握実施要領」を策定し、2003年1月より施行している(IASR 25:64-66, 2004)。

この制度の導入後の麻疹確定症例は、2003年20例、2004年15例であったが、2005年には確定症例はなく、麻疹発生ゼロが達成された(IASR 27: 87-88, 2006)。ところが、2006年9～12月に、再び県内で移入麻疹患者を感染源とした流行があったので報告する。

患者発生状況：全数把握制度による2006年の麻疹報告数は59例(疑い例を含む)で、そのうち定点からの報告が31例、定点以外からの報告が28例であった。このうち、病原体検査や血清学的検査により、麻疹が確定した症例が18例、否定された症例が40例、判定不可の症例が1例であった。

最初の確定症例は、第37週に本島北部地域で発生し、これを発端に同地域では第42週までに計12例発生した。また、これとは別に、第45週に東京都からの修学旅行の高校生で4例、第48週に埼玉県からの修学旅行の高校生で1例、第50週に県内の南部地域の高校生で1例発生した。

確定症例18例の年齢は、0～4歳5例、5～9歳2例、10～14歳1例、15～19歳7例、20～29歳3例であった。ワクチン接種歴は、未接種13例、接種済み4例、不明1例であった。

臨床症状は、発熱(38.5～40.5)と発疹が18例すべてで認められ、上気道炎7例(39%)、リンパ節の腫脹およびコプリック斑各5例(28%)であった。脳炎・肺炎・中耳炎等の合併症を併発した症例はなかった。また、入院したのは高校生5例で、入院期間は4～8日であった。

病原体検出状況：病原体検査は、全数把握で報告された59例のうち検体提出があった57例で実施した。検査には、医療機関で採取された咽頭ぬぐい液と血液を用い、RT-PCRによるウイルス遺伝子検出、およびVero/hSLAM細胞によるウイルス分離を実施した。その結果、PCR陽性は18例、このうち麻疹ウイルスが分離されたのは16例であった。

PCRで陽性となった検体は、ダイレクトシークエンスにより塩基配列(NP遺伝子3'末端領域385bp)を決定し、株間における相同性を比較した。その結果、18例のうち1例は塩基置換が1カ所認められたが、それ以外の17例の塩基配列はすべて100%一致した。

国立感染症研究所で分子系統樹解析を行った結果、18例すべてが遺伝子型D5に分類された。さらに、GenBankに登録されている株との相同性検索では、台湾、カンボジア、オーストラリアで分離された遺伝子型D5の株との相同性が99.22～99.74%であった。

2006年分離株と2002年および2003年に本県で分離された遺伝子型D5の株との比較では、塩基配列の相同性は96.36%であった。また、分子系統樹解析の結果、異なるクラスターを形成していることが明らかになった。

感染経路：本島北部地域で第37週に発生した1例目の患者は、8月末に東京を旅行し、帰省後9日目の9月6日に発症した。この患者が発生するまで、本県の麻疹全数把握における確定症例の報告は1年以上なかった。麻疹の潜伏期間は、10～12日であることから、本症例は旅行中に感染した可能性が強く示唆された。

同地域では、その後第42週までに11例の発生が報告された。保健所の疫学調査によると、この11例は、1例目の患者からの二次および三次感染者で、これら症例間の接触は、家庭や医療機関で起きていたことが明らかになった。

一方、第45週と第48週に東京都および埼玉県からの修学旅行の高校生で発生した計5例は、すべて本県到着後1～2日以内に発症していたことから、旅行に来る以前に既に感染していたと考えられた。また、県内の南部で発生した散発例は、埼玉県からの修学旅行生が発病時に利用した県内のモノレールを同じ日に利用していたことから、同一車両内で感染した可能性が考えられた。

考察：麻疹全数把握では、患者情報が定点以外の医療機関からも迅速に把握できる。2006年に医療機関から報告された59例のうち、定点からは31例、定点以外からは28例であった。この結果から、本県では定点以外の医療機関においても麻疹に対する意識が高く、全数把握制度が浸透していることが示唆された。

麻疹が確定した症例は18例で、PCR検査ですべて陽性を示した。検査結果は、検体が搬入されてから24時間以内に保健所および県健康増進課へ報告された。PCR検査は、迅速で有効な検査法の一つと考えられるが、検体採取の時期や、検査に十分な検体量が採取されないなどの理由より、陰性になる可能性も考慮しておく必要がある。医療機関では、臨床診断による発生報告とともに、血清学的検査(IgMおよびIgG測定)を併せて実施しており、PCR陰性の場合、診断にはこれらの検査情報が重要と考えられた。

今回、本県で発生した麻疹流行は、関東地域からの移入感染例に端を発するものであった。しかし、麻疹全数把握制度による関係機関の迅速かつ効果的な対応により、流行の拡大を封じ込めることができた。このことから、本県の麻疹全数把握制度は感染拡大防止の上で十分に機能していることが示唆された。

今後も移入症例、あるいは輸入症例が流行の発端となる可能性は考えられ、この対策の一つとして本県における麻疹全数把握制度は有効な方法であり、継続する必要があると思われる。

沖縄県衛生環境研究所 平良勝也 仁平 稔 岡野 祥 糸数清正 大野 惇
 沖縄県福祉保健部健康増進課 田盛広三 新垣美智子 譜久山民子
 沖縄県北部保健所 長浜久美子 比嘉啓子 糸数 公
 沖縄県中部保健所 野村直哉 神山安澄 新垣志乃 国吉秀樹
 沖縄県南部保健所 古謝由紀子 宮川桂子
 沖縄県中央保健所 崎濱壽賀子 平良ちあき 島袋全哲
 沖縄県はしか“0”プロジェクト委員会 知念正雄

(IASR 2007年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

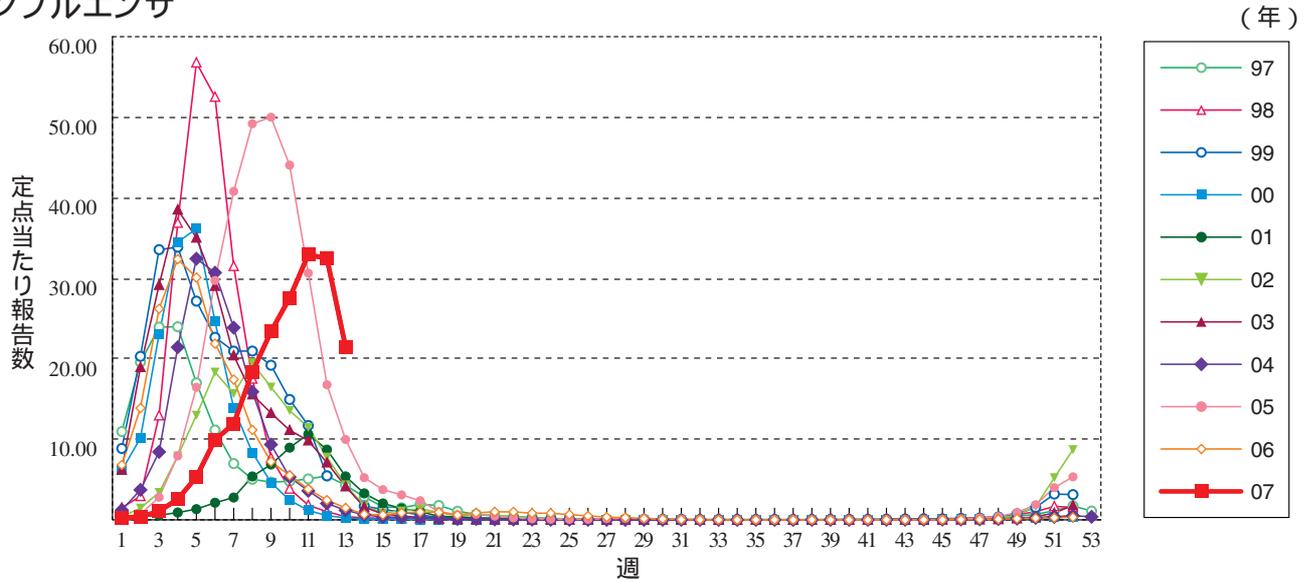


感染症の話

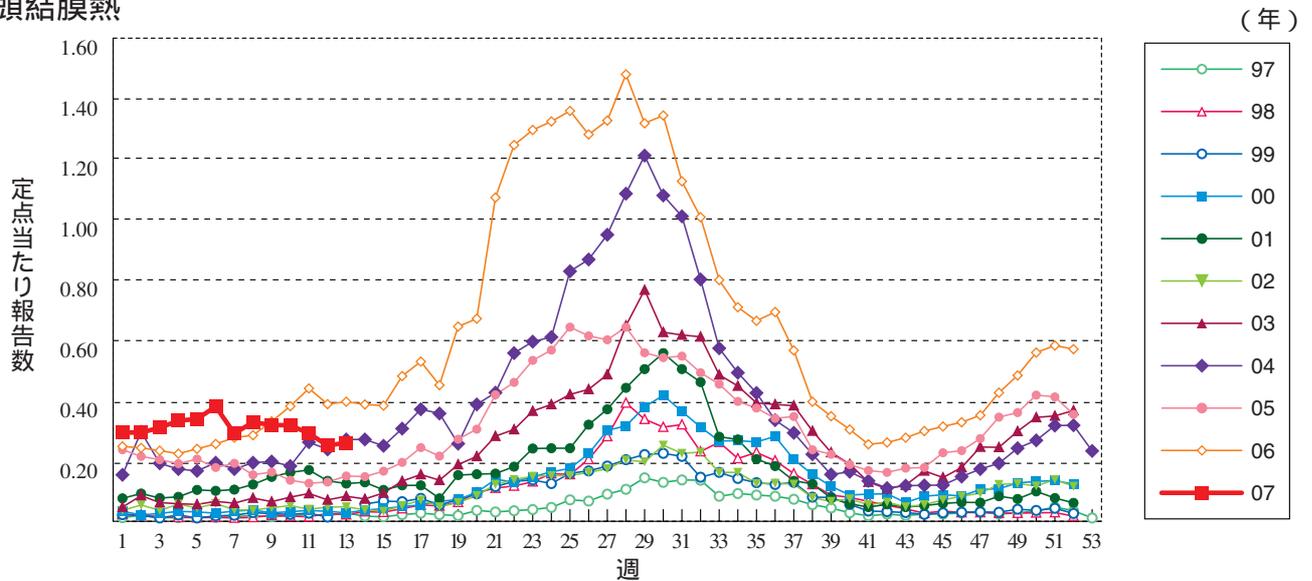
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(13週)

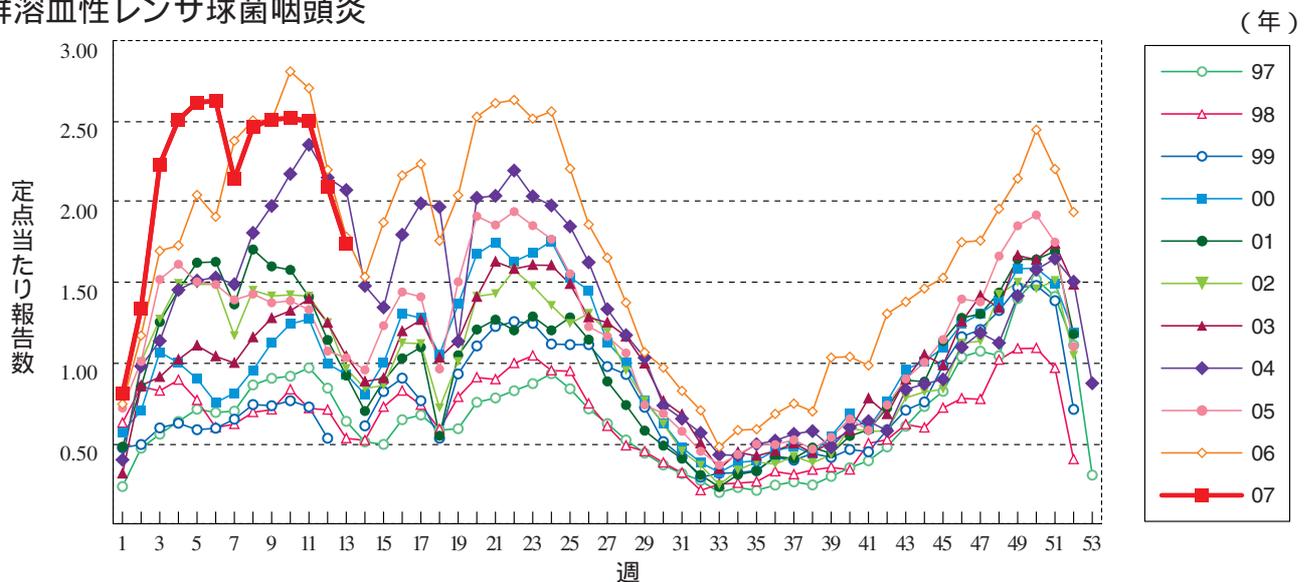
インフルエンザ



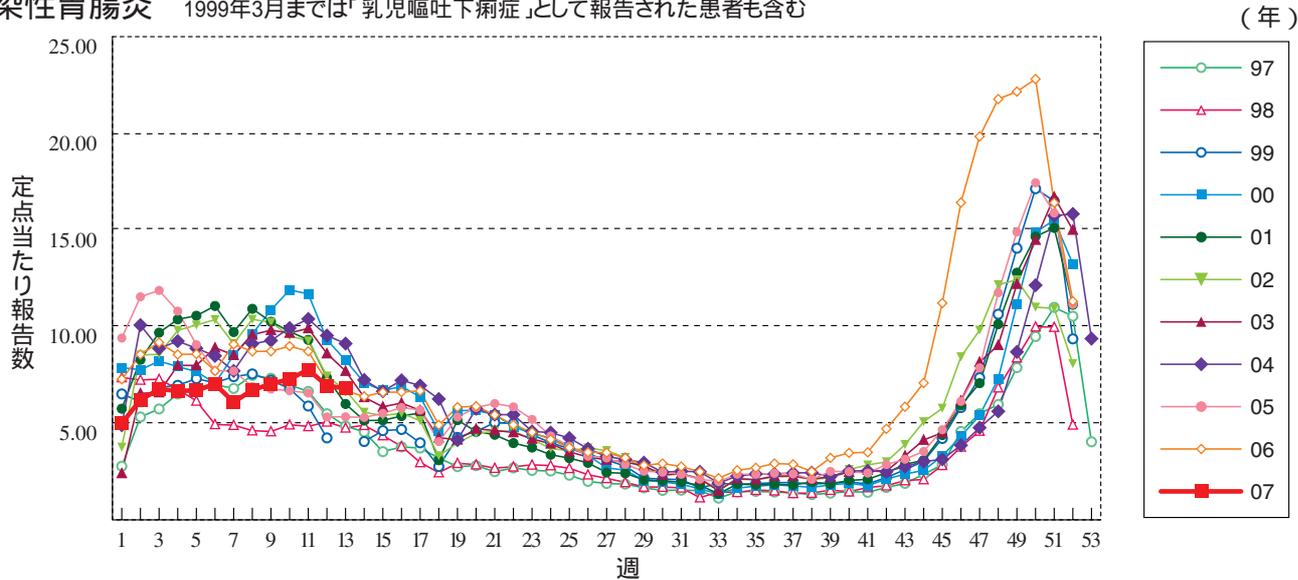
咽頭結膜熱



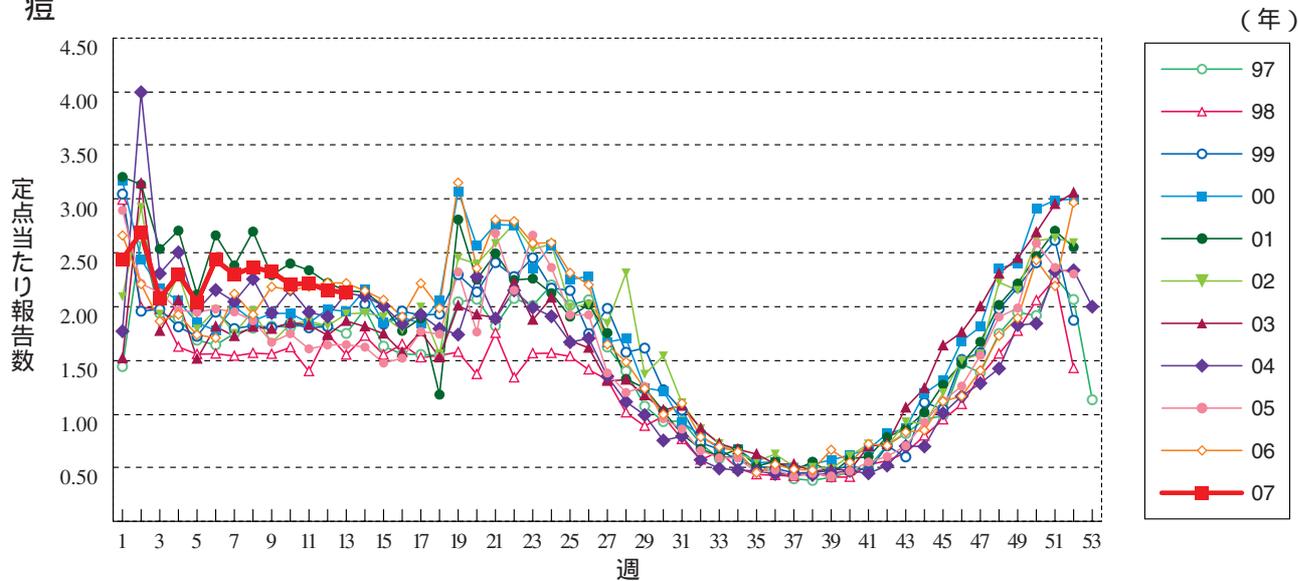
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



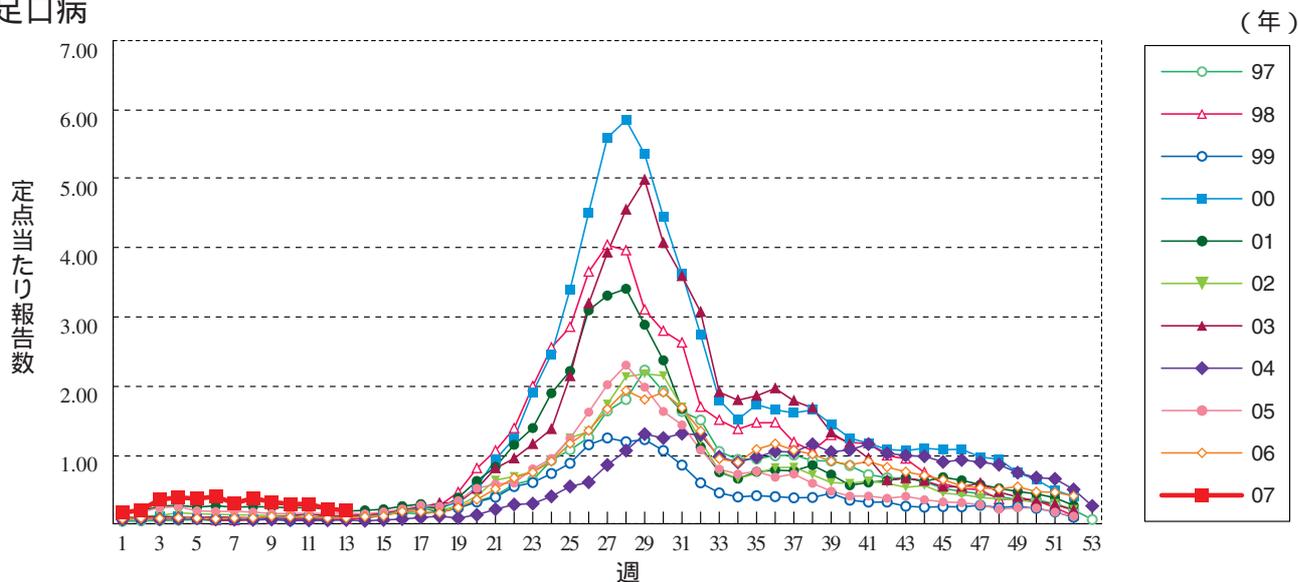
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



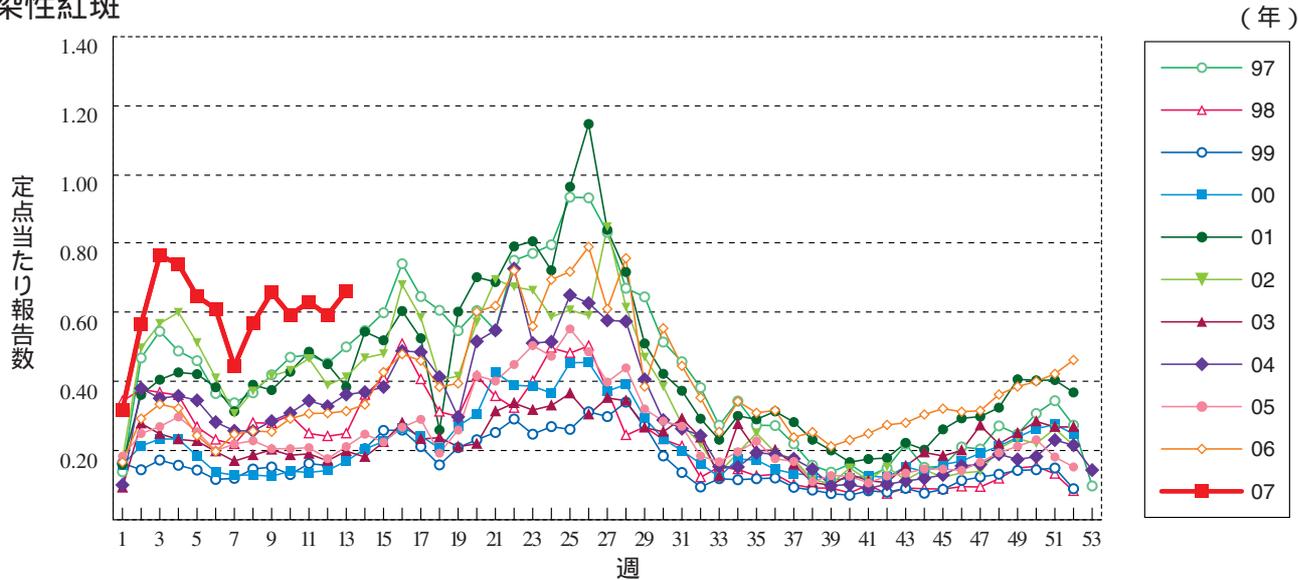
水痘



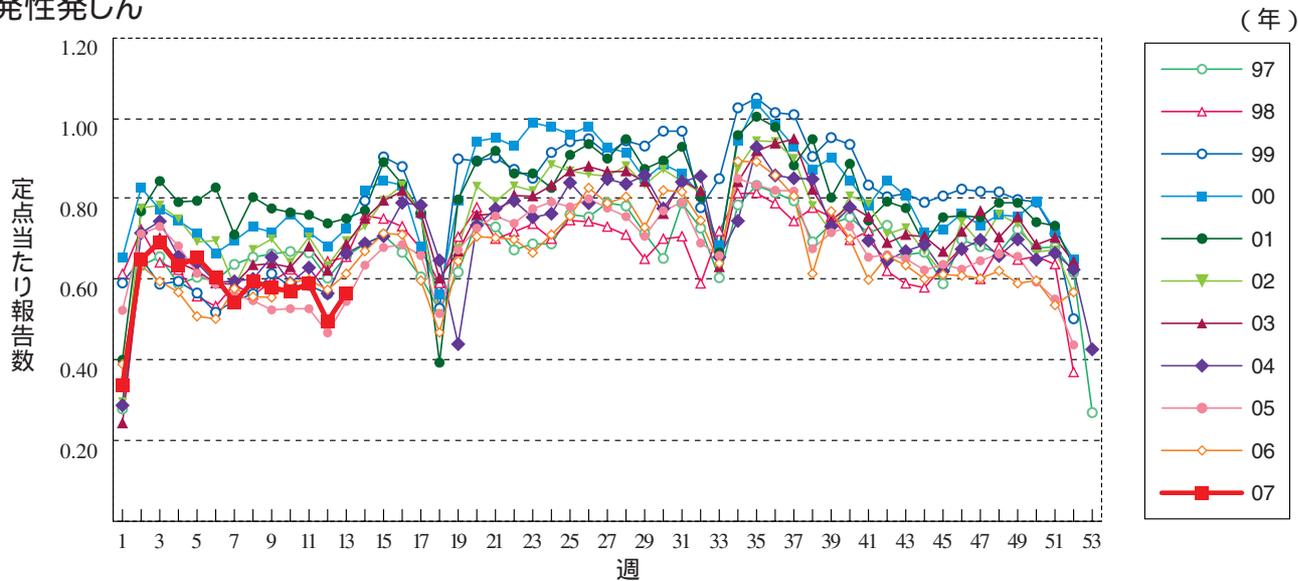
手足口病



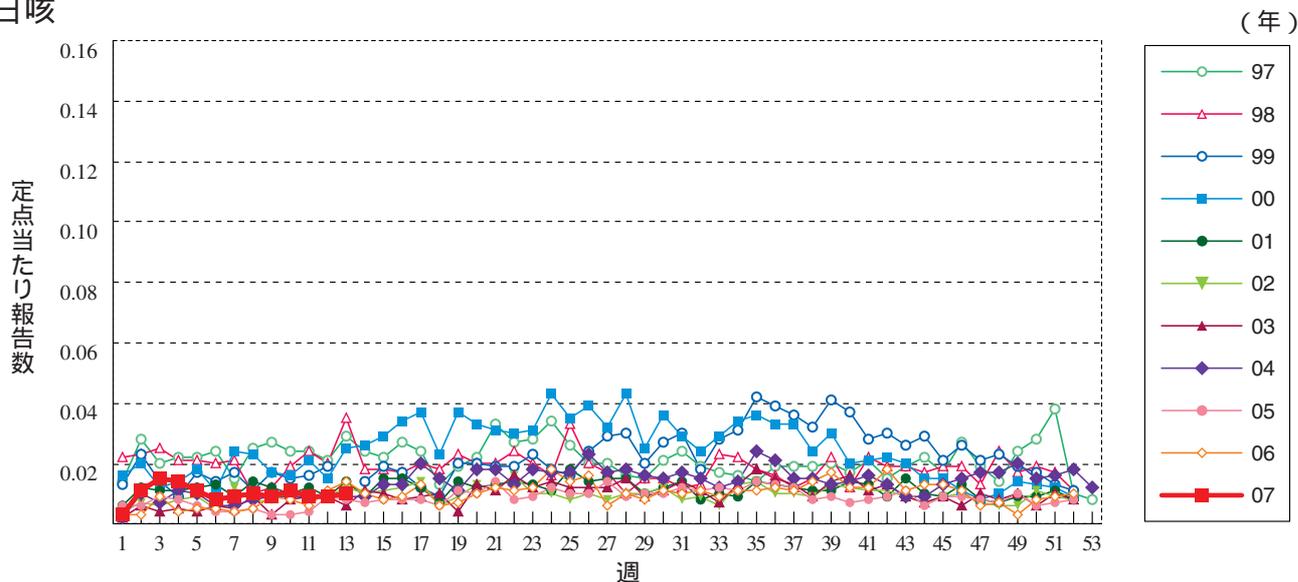
伝染性紅斑



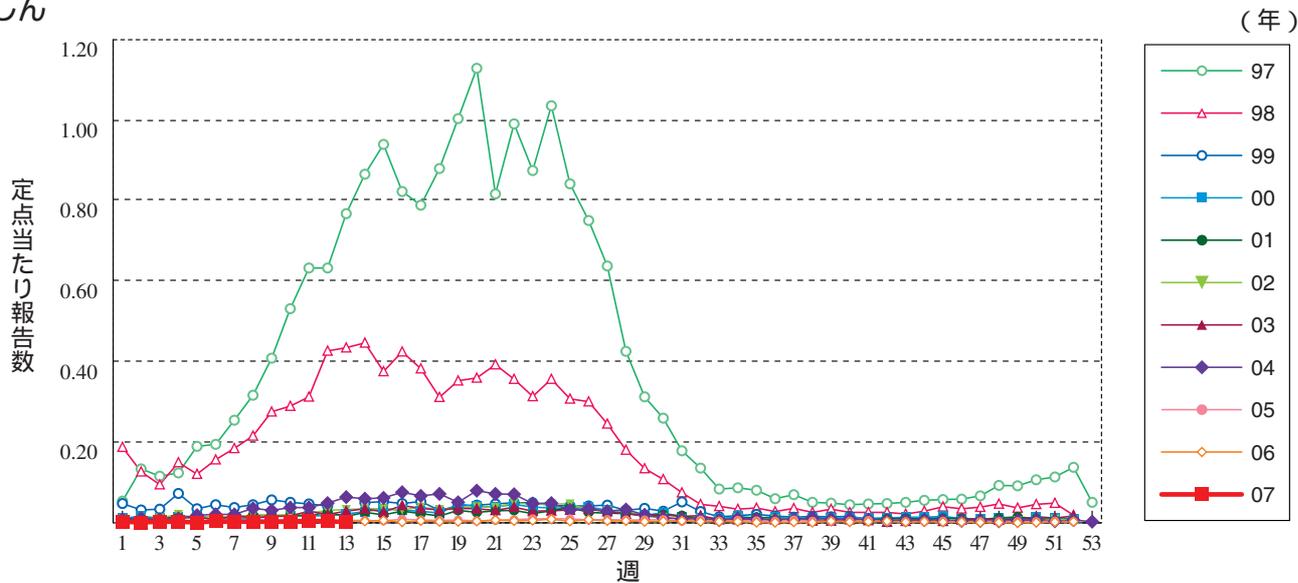
突発性発しん



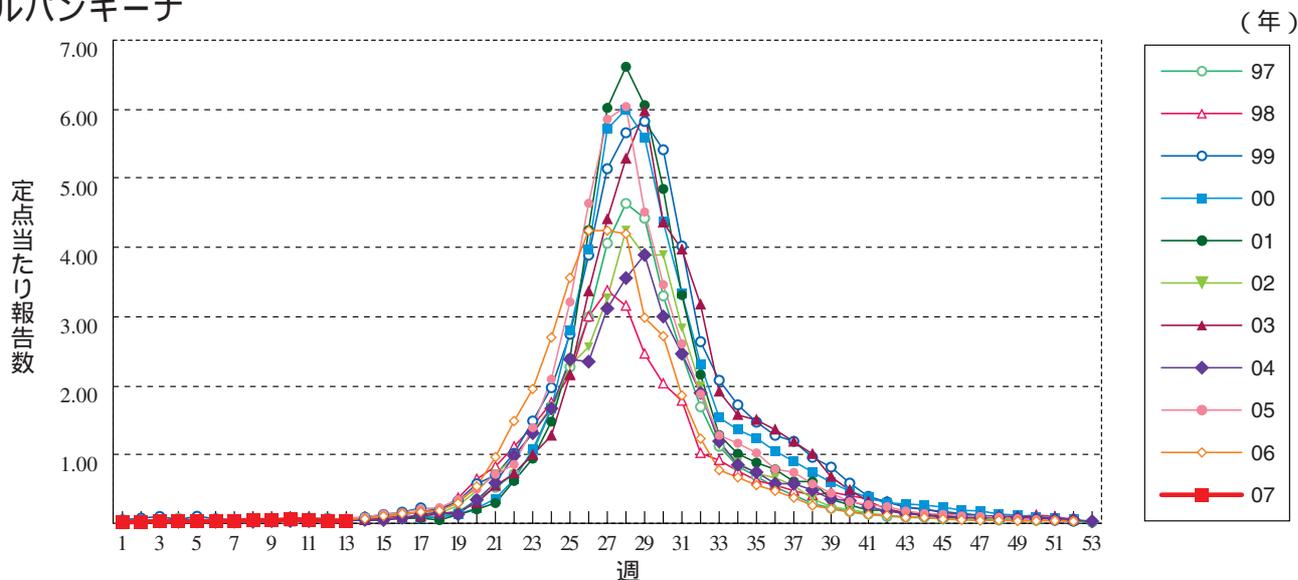
百日咳



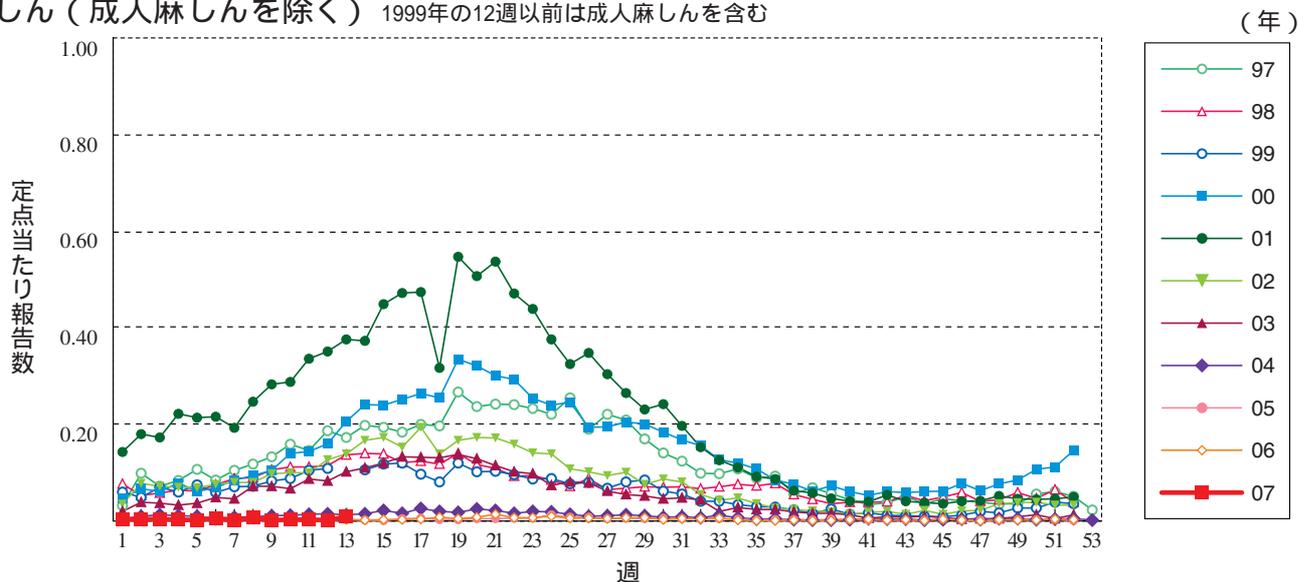
風しん



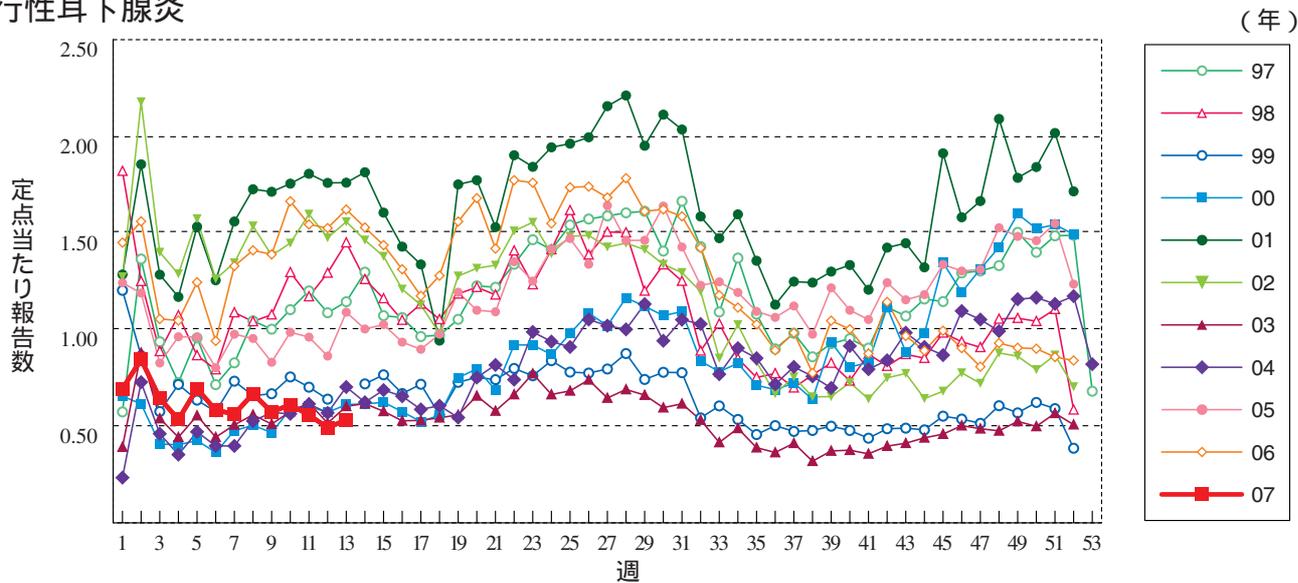
ヘルパンギーナ



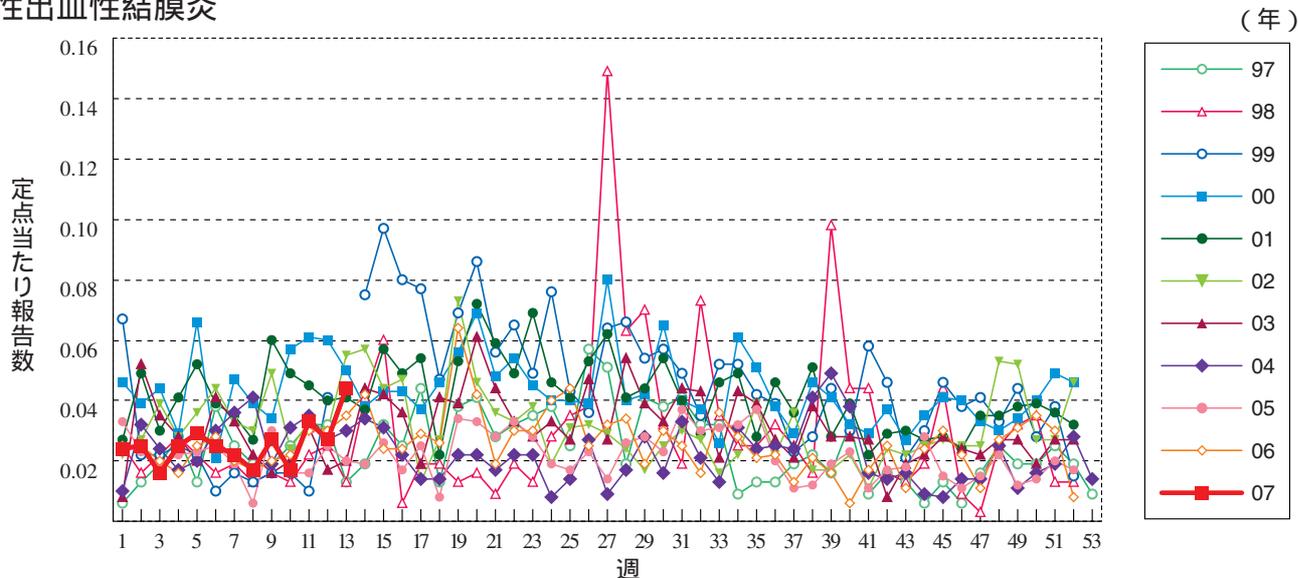
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



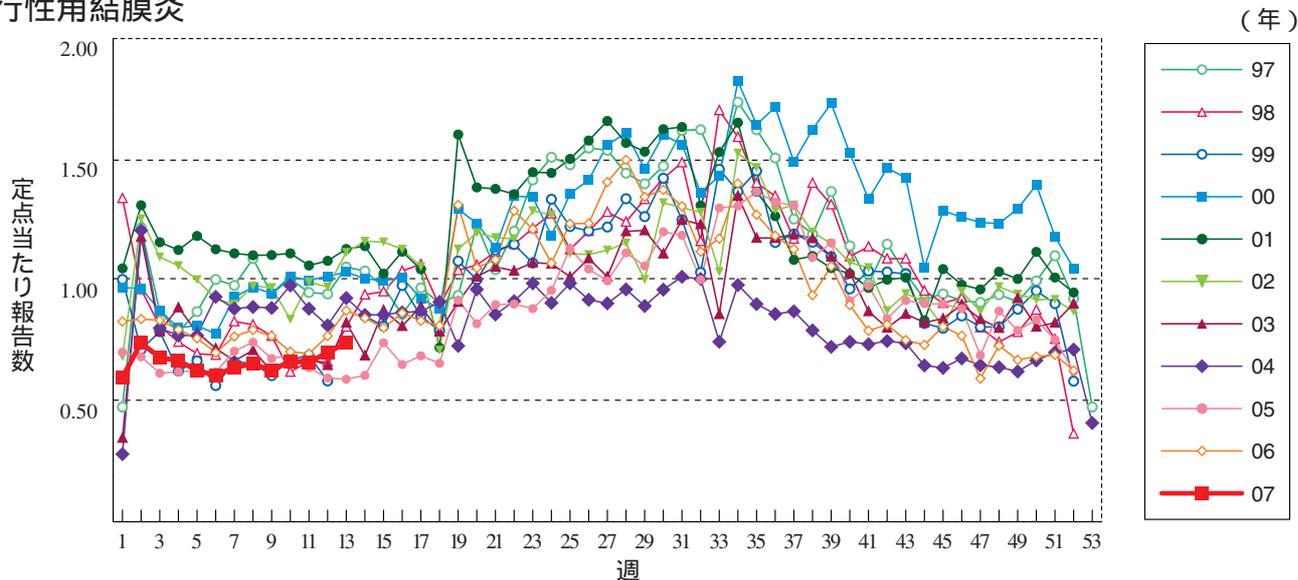
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

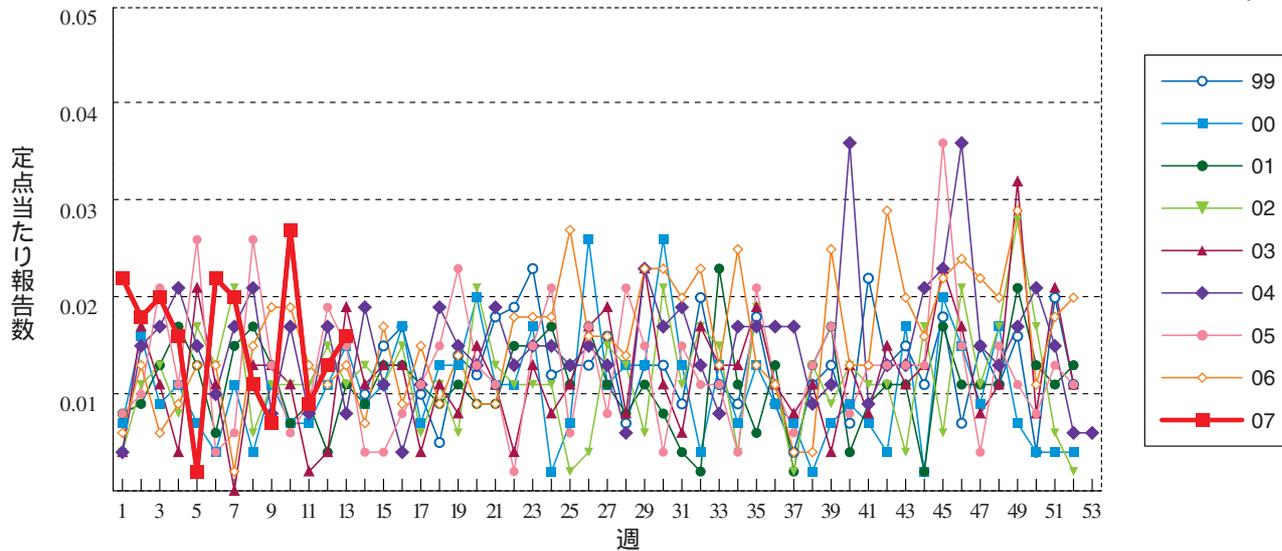


流行性角結膜炎



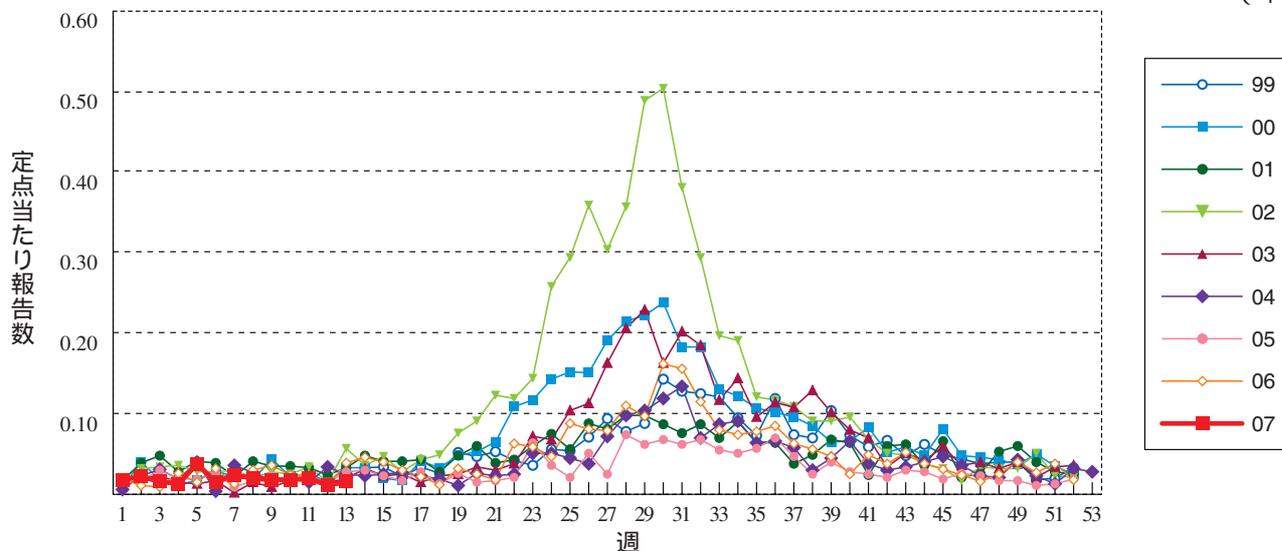
細菌性髄膜炎

(年)



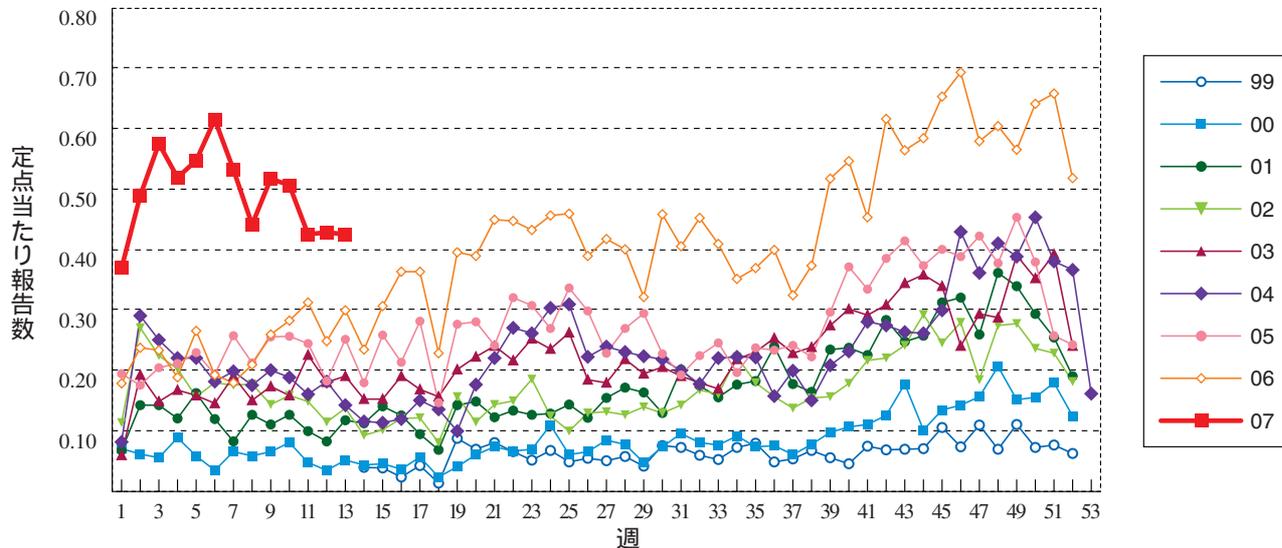
無菌性髄膜炎

(年)



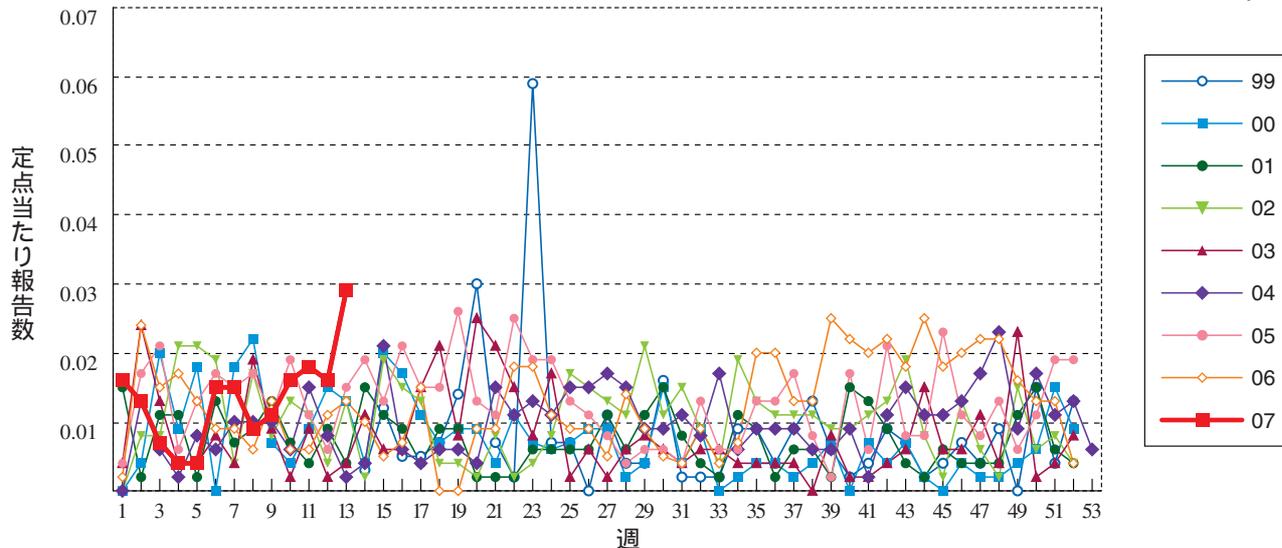
マイコプラズマ肺炎

(年)



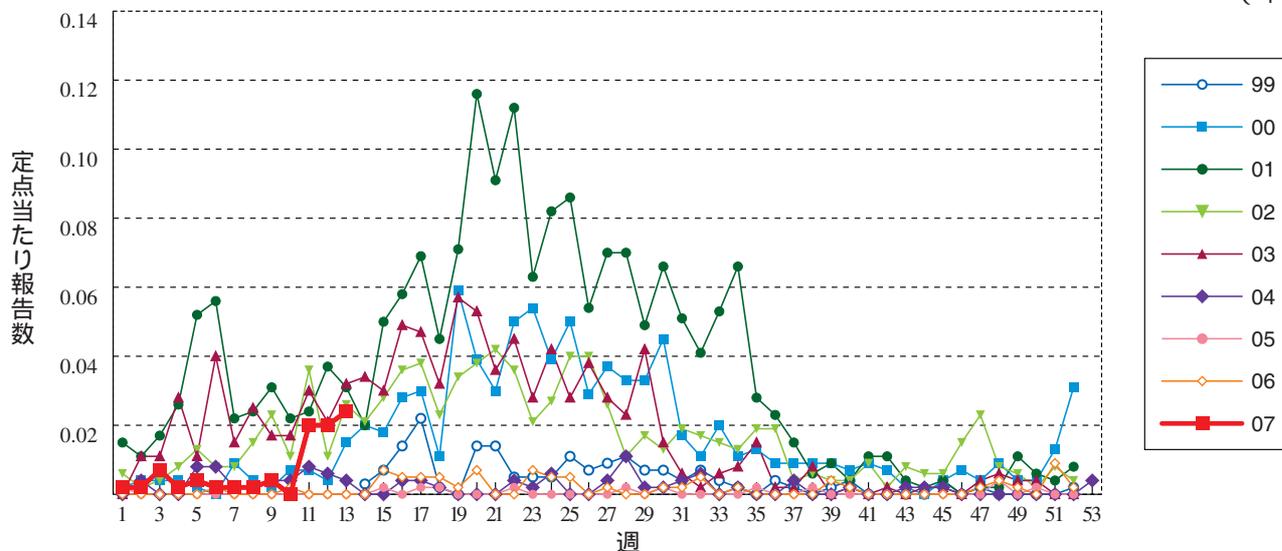
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



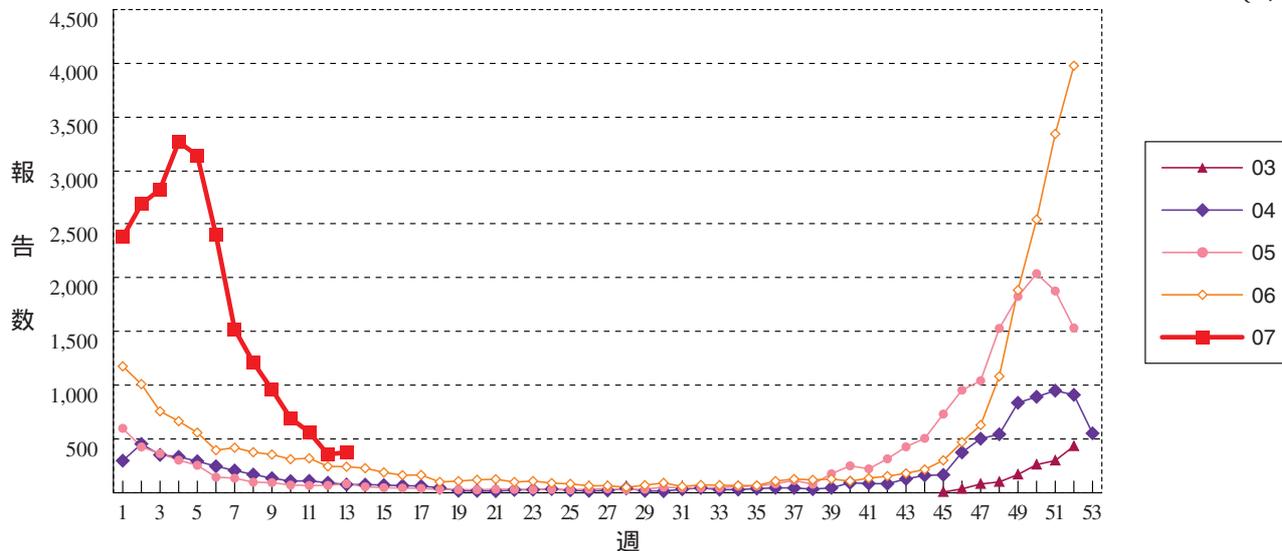
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





13週のデータ

注1) 表中の報告数は4月5日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。
 注2) また報告システム変更の影響により、この「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。
 *病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年13週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	13	125	-	-	1	9	-	4	10	162	-	13	-	-	1	40	-	4
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	4	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	23	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	14	-	-	-	1	-	1	-	4	-	1	-	-	-	7	-	1
神奈川県	-	5	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-
愛知県	2	11	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	6	36	-	-	-	2	-	1	1	15	-	-	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	3	-	-	1	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-
奈良県	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-
広島県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	7	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	2	41	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	5	89	-	1	5	177
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	6
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	34
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	25
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	15
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	8
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	18
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	32	2	50	-	1	2	41	1	33	6	282	-	9	-	3	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	1	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	1	5	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	-	-	1	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	7	-	-	-	3	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-
東京都	-	9	-	-	-	-	-	1	-	2	-	80	-	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	4	1	28	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	1	-	1	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	3	1	27	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	5	-	7	-	-	-	1	-	3	2	43	-	3	-	-	-	-
兵庫県	-	2	-	3	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	1	-	-	-	2	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	2	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	3	112	-	13	-	-	-	18	-	-
北海道	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	16	-	-	-	-	-	4	-	-
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-
愛知県	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	7	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	102402	21.48	784	0.26	5242	1.74	20525	6.80	6443	2.13	585	0.19	2000	0.66	1712	0.57	29	0.01
北海道	4894	21.46	26	0.18	578	4.04	263	1.84	221	1.55	11	0.08	214	1.50	51	0.36	-	-
青森県	2672	40.48	6	0.14	95	2.21	120	2.79	40	0.93	-	-	29	0.67	20	0.47	-	-
岩手県	1136	18.03	5	0.13	40	1.03	101	2.59	86	2.21	3	0.08	40	1.03	23	0.59	-	-
宮城県	1917	19.36	4	0.07	75	1.23	407	6.67	82	1.34	2	0.03	61	1.00	54	0.89	-	-
秋田県	896	16.59	15	0.44	67	1.97	134	3.94	46	1.35	5	0.15	32	0.94	15	0.44	-	-
山形県	744	15.50	18	0.60	83	2.77	140	4.67	66	2.20	9	0.30	14	0.47	19	0.63	-	-
福島県	1745	21.81	14	0.29	91	1.90	328	6.83	95	1.98	13	0.27	18	0.38	23	0.48	-	-
茨城県	2317	20.15	12	0.16	145	1.96	298	4.03	138	1.86	13	0.18	20	0.27	19	0.26	1	0.01
栃木県	1257	17.22	2	0.04	78	1.66	190	4.04	79	1.68	7	0.15	52	1.11	29	0.62	1	0.02
群馬県	2827	28.85	6	0.10	176	2.93	417	6.95	141	2.35	9	0.15	39	0.65	42	0.70	-	-
埼玉県	6005	23.37	50	0.31	390	2.42	1350	8.39	381	2.37	23	0.14	103	0.64	89	0.55	-	-
千葉県	4057	19.79	19	0.15	217	1.70	792	6.19	245	1.91	15	0.12	118	0.92	69	0.54	6	0.05
東京都	3850	13.70	24	0.17	171	1.20	771	5.43	188	1.32	9	0.06	75	0.53	71	0.50	-	-
神奈川県	5344	16.97	63	0.31	319	1.59	1128	5.61	408	2.03	18	0.09	119	0.59	150	0.75	-	-
新潟県	3414	35.56	26	0.43	158	2.59	238	3.90	129	2.11	9	0.15	49	0.80	36	0.59	1	0.02
富山県	1137	23.69	25	0.86	189	6.52	220	7.59	85	2.93	3	0.10	89	3.07	12	0.41	-	-
石川県	1245	25.94	14	0.48	86	2.97	257	8.86	50	1.72	1	0.03	49	1.69	11	0.38	1	0.03
福井県	984	30.75	3	0.14	69	3.14	339	15.41	70	3.18	11	0.50	20	0.91	13	0.59	-	-
山梨県	1098	28.15	2	0.08	33	1.38	73	3.04	18	0.75	-	-	10	0.42	4	0.17	-	-
長野県	1900	21.59	16	0.29	52	0.95	316	5.75	81	1.47	8	0.15	66	1.20	33	0.60	-	-
岐阜県	1323	15.21	27	0.51	27	0.51	200	3.77	67	1.26	1	0.02	52	0.98	24	0.45	2	0.04
静岡県	1789	13.35	15	0.17	142	1.65	635	7.38	213	2.48	4	0.05	99	1.15	62	0.72	1	0.01
愛知県	3331	17.17	48	0.27	243	1.34	1340	7.40	339	1.87	19	0.10	77	0.43	113	0.62	2	0.01
三重県	1571	21.52	9	0.20	77	1.71	426	9.47	91	2.02	7	0.16	24	0.53	31	0.69	-	-
滋賀県	1151	21.72	6	0.19	10	0.31	209	6.53	34	1.06	4	0.13	29	0.91	14	0.44	-	-
京都府	1425	11.78	7	0.10	55	0.76	465	6.46	102	1.42	7	0.10	27	0.38	15	0.21	2	0.03
大阪府	4109	14.42	32	0.17	283	1.47	1512	7.83	397	2.06	12	0.06	115	0.60	84	0.44	3	0.02
兵庫県	3644	18.40	29	0.23	111	0.87	948	7.41	286	2.23	11	0.09	54	0.42	66	0.52	1	0.01
奈良県	799	14.53	19	0.54	22	0.63	230	6.57	69	1.97	-	-	30	0.86	10	0.29	-	-
和歌山県	917	18.34	4	0.13	29	0.94	298	9.61	103	3.32	1	0.03	26	0.84	14	0.45	-	-
鳥取県	679	23.41	6	0.32	67	3.53	120	6.32	26	1.37	1	0.05	1	0.05	15	0.79	-	-
島根県	826	21.74	13	0.57	32	1.39	189	8.22	44	1.91	3	0.13	3	0.13	24	1.04	-	-
岡山県	1932	24.46	7	0.13	51	0.94	380	7.04	88	1.63	4	0.07	12	0.22	23	0.43	1	0.02
広島県	2759	23.99	41	0.57	111	1.54	507	7.04	102	1.42	12	0.17	16	0.22	35	0.49	1	0.01
山口県	2599	37.13	17	0.35	106	2.16	460	9.39	162	3.31	10	0.20	35	0.71	41	0.84	-	-
徳島県	947	23.10	5	0.23	24	1.09	219	9.95	42	1.91	-	-	8	0.36	17	0.77	-	-
香川県	1012	20.65	6	0.20	43	1.43	190	6.33	45	1.50	1	0.03	13	0.43	14	0.47	-	-
愛媛県	1192	19.54	1	0.03	93	2.51	412	11.14	112	3.03	-	-	35	0.95	32	0.86	1	0.03
高知県	872	18.17	5	0.17	46	1.53	195	6.50	66	2.20	1	0.03	15	0.50	12	0.40	1	0.03
福岡県	5362	27.08	31	0.26	170	1.42	1380	11.50	381	3.18	55	0.46	33	0.28	102	0.85	1	0.01
佐賀県	1130	28.97	13	0.57	27	1.17	177	7.70	84	3.65	22	0.96	5	0.22	19	0.83	-	-
長崎県	2668	38.11	18	0.41	22	0.50	298	6.77	110	2.50	49	1.11	9	0.20	18	0.41	-	-
熊本県	2666	33.33	20	0.42	105	2.19	472	9.83	120	2.50	50	1.04	4	0.08	30	0.63	1	0.02
大分県	2225	38.36	28	0.78	54	1.50	407	11.31	100	2.78	15	0.42	24	0.67	45	1.25	-	-
宮崎県	2188	37.08	14	0.39	59	1.64	580	16.11	207	5.75	67	1.86	13	0.36	29	0.81	-	-
鹿児島県	1792	19.27	12	0.21	96	1.71	341	6.09	254	4.54	56	1.00	13	0.23	30	0.54	1	0.02
沖縄県	2055	35.43	1	0.03	25	0.74	53	1.56	150	4.41	4	0.12	11	0.32	10	0.29	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	7	0.00	104	0.03	26	0.01	1607	0.53	28	0.04	473	0.74	7	0.02	7	0.02	192	0.43
北海道	1	0.01	-	-	-	-	59	0.41	-	-	13	0.45	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	3	0.07	1	0.02	69	1.60	-	-	6	0.55	-	-	-	-	8	1.33
岩手県	-	-	4	0.10	-	-	27	0.69	-	-	6	0.50	-	-	-	-	10	0.50
宮城県	-	-	-	-	-	-	52	0.85	3	0.25	2	0.17	-	-	-	-	8	0.67
秋田県	-	-	-	-	-	-	42	1.24	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	5	0.17	-	-	3	0.38	-	-	1	0.10	6	0.60
福島県	-	-	-	-	-	-	19	0.40	-	-	11	0.92	-	-	-	-	12	1.71
茨城県	-	-	-	-	-	-	4	0.05	1	0.06	29	1.81	-	-	-	-	12	1.09
栃木県	1	0.02	2	0.04	-	-	35	0.74	1	0.08	13	1.08	-	-	-	-	9	1.29
群馬県	-	-	-	-	-	-	40	0.67	-	-	34	2.43	-	-	-	-	12	1.50
埼玉県	-	-	3	0.02	11	0.07	42	0.26	3	0.07	20	0.49	-	-	-	-	9	1.00
千葉県	-	-	2	0.02	1	0.01	45	0.35	5	0.16	27	0.84	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	4	0.03	9	0.06	38	0.27	-	-	11	0.79	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.00	3	0.01	1	0.00	69	0.34	2	0.05	65	1.59	1	0.11	-	-	3	0.33
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	139	2.28	-	-	14	1.27	-	-	-	-	3	0.23
富山県	-	-	-	-	-	-	18	0.62	-	-	12	1.71	-	-	1	0.20	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-	2	0.07	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	6	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	7	0.29	1	0.11	4	0.44	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	2	0.04	-	-	25	0.45	-	-	2	0.18	1	0.09	1	0.09	8	0.73
岐阜県	-	-	2	0.04	-	-	13	0.25	-	-	4	0.36	-	-	-	-	3	0.60
静岡県	-	-	1	0.01	-	-	47	0.55	-	-	8	0.40	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	1	0.01	-	-	75	0.41	1	0.03	7	0.21	1	0.09	-	-	2	0.18
三重県	-	-	1	0.02	-	-	44	0.98	-	-	6	0.50	-	-	1	0.11	1	0.11
滋賀県	-	-	1	0.03	1	0.03	10	0.31	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	1	0.14
京都府	-	-	-	-	-	-	29	0.40	-	-	14	0.78	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	4	0.02	-	-	90	0.47	-	-	17	0.40	1	0.08	1	0.08	13	1.08
兵庫県	1	0.01	4	0.03	-	-	106	0.83	-	-	19	0.54	-	-	1	0.09	1	0.09
奈良県	-	-	2	0.06	-	-	7	0.20	-	-	2	0.22	-	-	-	-	3	0.50
和歌山県	-	-	-	-	-	-	19	0.61	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	-	-	-	-	8	0.42	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	5	0.22	-	-	21	0.91	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	9	0.17	-	-	42	0.78	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	4	0.06	1	0.01	18	0.25	-	-	12	0.63	-	-	-	-	8	0.38
山口県	-	-	11	0.22	-	-	9	0.18	-	-	4	0.44	1	0.11	-	-	4	0.44
徳島県	-	-	-	-	-	-	6	0.27	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	0.10	-	-	16	0.53	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	23	0.62	1	0.13	14	1.75	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	37	1.23	1	0.33	6	2.00	1	0.14	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	18	0.15	-	-	84	0.70	4	0.15	12	0.46	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	0.04	8	0.35	1	0.25	-	-	-	-	-	-	4	0.67
長崎県	-	-	7	0.16	-	-	10	0.23	2	0.25	12	1.50	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	3	0.06	-	-	11	0.23	-	-	8	0.89	-	-	1	0.07	-	-
大分県	-	-	1	0.03	-	-	41	1.14	-	-	2	0.40	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	-	-	2	0.06	-	-	35	0.97	-	-	12	2.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	-	-	-	-	39	0.70	1	0.14	11	1.57	-	-	-	-	3	0.25
沖縄県	-	-	-	-	-	-	16	0.47	-	-	9	0.90	-	-	-	-	41	5.86

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年13週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	13	0.03	11	0.02	377
北海道	-	-	-	-	60
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	3
宮城県	-	-	1	0.08	5
秋田県	-	-	-	-	9
山形県	1	0.10	-	-	6
福島県	-	-	-	-	26
茨城県	-	-	1	0.09	-
栃木県	-	-	-	-	2
群馬県	1	0.13	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	6
東京都	-	-	8	0.33	4
神奈川県	-	-	1	0.11	9
新潟県	7	0.54	-	-	2
富山県	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	10
愛知県	1	0.09	-	-	20
三重県	-	-	-	-	6
滋賀県	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	6
大阪府	1	0.08	-	-	28
兵庫県	-	-	-	-	22
奈良県	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	4
島根県	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	11
広島県	-	-	-	-	15
山口県	-	-	-	-	7
徳島県	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	11
高知県	1	0.14	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	9
宮崎県	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	11
沖縄県	-	-	-	-	8

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年13週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年13週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	5
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	1
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第13号 2007年4月13日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。